國内閣最初の地方長官會議

抗議は既に數回

日本は福本問題を抗議中

河相外事課長語る

就は滿洲國が大連に一統語

丁使節歸京

卿囈語を口走る

学行島に着いた調査歴リットン 【青島二十日簽】 十九日午後三

病院車連結

館は午

調查團北平到着

無 さする支那側の繊胞である は本日來平する調査原を刺載せん は本日來平する調査原を刺載せん

天電話』
大電話』
大電話』

御陪食

地方長官に

けさ濟南より飛行機にて

石本事件を逆宣傳

基礎的調査に留らしめる答

大連驛新築は明年度實現難

接敬したが、教官廳は之を圖書表天城內大南門内の舊張學以前

に発用すべく場脈大學その他より機敢したが、教育廳は之を圖音館

教育廳は之を圖古館 **夫省教育廳** 

に滿洲國第一の圖書館たらしむ

7.

また問題になってゐるやう

舊大帥府を

圖書館に

教育廳で計畫

二十百うらる丸にて大阪へ

身分保障案

團を刺戟の目的で

男 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人種編 盛 武 村 本 人剛印 地番一卅町園公東市連大 社報日洲滿社會式株 所行發

村領會議を召集

を 常なのか像測がつかり。 常なのか像測がつかり。

時つて最近

一般である。耐泉政府で総々阿片公 である。耐泉政府で総々阿片公 引かれたのは蔣介森が除程ごうかせののだが、これに多少さも強か

心中立なす でいるなど現在では一笑にも値を を称るなど現在では一笑にも値を では、これに多少さも気を が反群の では、これに多少さも気を が反群の では、これに多少さも気を が反群の 領はゐない。況んや彼等が反射

は、 かけた學良の尻について共倒れの かけた學良の尻について共倒れる かけた學良の尻について共倒れる かけた學良の尻について共倒れる かけた學良の尻について共倒れる

を使用するらといが之は直に彼の

協和會名稱變更

を育さいふが如き名稱に敗むるこれである情様であるからに開協和 電がいてある情様であるからに開協和 電場でも悪脅さ等したき希望を検

も多少延期される極様である『奉経のてこれ等の關係で自然結成式

和會は海儀院政な名無総建に、郷土 おまとい活動を観けてある消消関協・地方民を響等と或は日本國民に新地方民を響等と或は日本國民に新地方民を響等と或は日本國民に新地方民を響等と或は日本國民に新地方民を響等と

てぬるのも之に何等かの安盤駈を しつけるためださいはれてぬる。 (版本北平特派員)

満蒙の戦慄

(49)

を本生 それは、触道さ同じやうに 一突 中市の 東の勢びが十分に、張りであるものであった。 中本電 機さのあるものであった。 中方の兵の勢びが十分に、張りでなった。 中方の兵の勢びが十分に、張り 角力を同じやうに

| 大兵衛氏(實業家)同上東 それは、たつた一寸で、たつた二十のため東京へ | 一人、こ、音立て、接める彈——のため東京へ | 一人、こ、音立て、接める彈——のため東京へ | 一人、こ、音立て、接める彈—— 折敷いて、戯を、膝の上へあて

着であった。 着であった。 響な運命であるさいふ事を、感じない。 なの。 なであるさいふ事を、感じない。 など、死さが、心中流

一人の長が、呼んだ、道木が、 前方を見るさ、高粱の中の酸は、 なへ、若へさ、遺ふやうに動いて るた。 道木が、立つさ同時にの

奥へる、動物の本能であった、

車(二ノ五) 撃した表情であつた。道木が、そ 特有の筆闘心から起る自兵戦を希 ・何の鎖も―それは、日本人 「中隊長」 の一人へ 「やるか」 さ、笑ふさ共に

して、足を構へた。 その氏が、射撃な

一それば、喜びさ、母に現象さな 一をれば、喜びさ、母に現象さな 此際虚弱者… **膓チフス疫** 痢等消化器 は勿論壯者 傳染病の流 ゼを服用し もブルトー

抗

直木三十五作

淺

次

朗

# 張學良排斥策 阿片公賣計畫の豪面

一の財源阿片收入がなくなり自己の軍隊が三四ヶ月を出ですとて爆爆を免れる危險あるを菩屈するためであるを緩緩すべらさ電命と、慢業脅迫の手段をさりつ、熱沙の験返りを激起してある、様は若し熱河が満洲國に製し必死に北軍は惨勢が何によつては熱河に多數部隊を送り飽迄熱河を支援するから満洲國に對し必死に北軍は惨勢が何によつては熱河に多數部隊を送り飽迄熱河を支援するから満洲國に對し必死に か今後の北支延いては日満開係に微妙なる影響あるものさらて駆る注目さると意識を平の登職を受した、反張か連張かの岐路に迷ふ北支各將縣徹と顧黙協議のため浄北に河北將領會議を召集するに決し、山東指際 近く郷州まで出かけて學良さの歴。書だつたのである。この歌歌が實。た。が恭へて見るきさせる――さいふのだ。祇も勝は、平には誰か中央から人を瀝する訳。は窓に張群な北上させ、南下させ、南下もたら概幾既態に、會議など一顆たもら卑良の進意を探る立共に解途撤留。南下させ、南下もたら概幾既態に、會議など一顆たもら事務議を名さして選群を北上させ、議したいさいふ日實の下に學良を、らしい。全常なら風事務議を名さして選群を北上させ、議したいさいふ日實の下に學良を、らしい。全常なら風事務議を名さして選群を北上させ、議したいさいふ日實の下に學良を 王力を新線に注 級關係以緊縮

領はこれに對し如何なる態度に出るか今後の北支延いては且職後集、山西部構像形計、鞍選結膺傾作義での他に對し急遽來率の召覧を愛した【北平特電二十日聲】熱沖の形熱逼消に艦み學良は谷粉領主重要協議のため河北

學良熱河を脅迫懷柔

東京十九日餐 動ったので二上整記官長は正融議 が奏請した交官身分保障に関する を奏請した交官身分保障に関する 長さいる九名の委員を指名した長さの話を関う中語は最もなる員 地方官招待會 滿鐵々道部事業

丁、諾兩國紛爭

變り映えのなっ

らう【奉天電話】

適當なる地點に移されることにな安置されてゐるが、之は當然他の

織被氏が擬せられてゐる、なほ同金織氏、融館長には前教育會長金 金織氏、融館長には前教育會長金意輸込みであるがその館長には衰

長)十一人 横)今回旅順署より蝲動さなつ でこついて挨拶のため二十日市 でこついて挨拶のため二十日市

一が、誰にも、驚らない、さいふ奇でを入なにも、百近く飛んでくる選

廿一日午前八時着列車で着暑一氏(滿鑁々道部庶務課

濟具體案

有泉正二氏(端洲紡績營業部長)
同上

が治郎氏(三井物産大連支い氏(臺北高等學校長)

二十二出版

**定治郎氏(満洲自動車支配**大吉氏(進和商會主)(同上

中小商工業

五相會議の意見一致

こノルウエー間の総争は窓に同所 ンド一部土地に関するデンマーク

## 足の財源は 公債にて補塡 藏相、增稅論に反對

一般所は高齢の重 大郎の意見が冷野するに至ったの中小殿工業者数 で二十三日、「相會議で正式決定中小殿工業者数 で二十三日、「相會議で正式決定をおける。」

農村並に中

軍人八千名 大連管內在鄉

連中がまた何かガヤー

√類さいこつちや。

ですれて、 神川でからす、 満に責低のない を変怒會議が

、砲兵八百十名、工兵四百六百五十九名、騎兵百七十二名、憲兵五十一名、歩兵

| 國代表も預だけは太い。| 選の存在さへ終しい連中、船離小

赤字を全部無くし財政均衡を得せ等で要するに消角財政が為す以上

我では那て以上のやうな旅雪を供 さうせそこだ行き得ないやうな婚

一、名稱は假に考査部とする。

配して一局では政策他の一局では「によるべきかは各方館に議職が勝一一、来査部に工局五課を設ける」の形字の傾域を公儀によるか境秘・これを置く、名稱は假に考査部さす。 は一院製物でも専明白であり、これを対しては、一院製物でも原統を要するので財源の不足と、本種は假に考査部さす。 高州事件党の如きも別続き

へ連海關問題で

**爬稅務司抗議** 

外務省考查部

四相會議に

滿鐵職制

の四相會議の席上、満級職制改正

の政策的問題について話するこ 融助成法案要項との政策的問題について話すると は金庫法案要項をの振台がにおいてどうするかと は金庫法案要項をの振台がにおいてどうすると は金原芸案要項を にました。 は金原芸術を見いた。

《門司特龍二十日聲》 ほんこん丸船客

の総州事情を遊霊際、だが此方はよ

「新生」

に高まる。

のべも」の製論、漸く日滿谷方面 熱河方面の形勢遠追に「學良計

る學良一味の知策。

0

不養男軍の活躍、その不養男軍

第二の中村大尉事件で見る。

第二次臨時議會

來月廿日から、

いが、政府は大

規出順の割込み運動もあ の合同運動起る。 配白くない、こあつて批デ子 通線

道木は、己の闘志をも、押へて

大 版 證 修 町

は、突撃するのに、十分であつた は、突撃するのに、十分であった、そ 一傷ついて繋がるさ、その味りの者 んころの彈が驚るかし が、既な道ふ本能さ、スポーツ版 が、既な道ふ本能さ、スポーツ版 な解釈 一一貫ける事を知らり 

の信帳からさ、だんくくさ、大脈での信帳からさ、た。これをは、自分の無駄からさ、これをすくめて、ないのになって行った。 ねばならぬ

藥備常定指院病學大國帝各 申越次第無代進品 妊娠中の婦人に 対象を が見虚弱症に が見虚弱症に が見虚弱症に が見虚弱症に

力を强めて 疲勞を恢復 能の衰弱と め断然抵抗 し榮養を昂 て身体諸機 之を征服せ

はるびん丸から

工業化學會員と成溪高校生

行を代表して田中芳雄博士は語一

台理化を圖り

打合せななし

老爺嶺で

列車脫線

山崩に乗

東京二十日参」養男財際海 電は二十六日を以て創立端十周年 製さして経資二十一萬六千個を以 製さして経資二十一萬六千個を以 大橋須賀宏軍丁融に飛行機割・職用 大橋須賀宏軍丁融に飛行機割・職用 大橋須賀宏軍丁融に飛行機割・職用

業界に貢献

田中芳雄博士語る

日

傷痍兵遺族後援

(日曜木)

献納の恤兵金で

約二百萬國)で愛國義男財幣 「東二十日發」隆軍當局談: 一、第人遺族生計の補助 「東二十日發」隆軍當局談: 一、第人遺族生計の補助 就職斡旋又は職業

陸海軍剛省に一任すること

思ふ、声思ふ、声をからつこよく話・ない。北意味からし、

料さして買ふてゐてくれるから料さして買ふ不るてくれるからとこかく研究問題は澤山あるとこにかく研究問題は澤山あるとこの、自分は日本の教を

連合の教育・ 大田長数純老爺飯大道河間二ケ ・ 大田長数純老爺飯大道河間二ケ ・ 大田東海後館の見込は簡分で、 ・ 大田東海後の ・ 大田東海後の ・ 大田東海後の ・ 大田東海 ・ 大田東 點呼力士歸國

一般で総行の能跳転呼に登撃された 事下力士十三名は二十五日東京に 報機級會顧凶力士高登、大邱山州

遺棄死體に 眞性コ

愛國義勇財團を創立 十九日號小湖子署管内繋町一番地 支那人の死機はその後機範の結果 二十日午前九時選性コレラご決定 したが、宏潔街九料理店三號方供 したが、宏潔街九料理店三號方供 人の容疑者は陰性 施順吐瀉患者 二十日午前八時巡旋順常難町四編 三十日午前八時巡旋順常難町四編 午前九時陰性で決定した

調じついある

レスリング選手

H

用の入り

まづ理想的な天候

内西山倉馬蘭屯の實兄張彦方より 旅順署では早速橋本蔵な恋派して一【ロサンゼルス特電十つは急に吐瀉な始めたので時節機 レスリンク羽 瑞西人の宣教師

問題前進四艦田徳次郎は 馬賊に拉致さる

甘南縣下の五峯山で

間もなく遅れまれ

類似さ診定機範中のミニろ二十日一名は九日午後五峰山附近にて馬賊 

定し身代金さして統領十三次、 選し身代金さして統領十三次、 第一萬七千妻さ銀一萬三千元な要

途京城に立ち

二三三三 最昨 元三三三 日 七三五五五九高の

料養滋度速高

會葬御禮

川

村

一大学

で 月 二 十 日 香被下難有御禮申上候 変篤介告別式執行の際は炎暑の折柄御

全部立業で勝つた 全満軍か學生軍 の強味 か

は 生職合軍を打ち破り略和三年には 「膨び振りは未だ者人の腰部 第一回は浦州草東都に遠征して夢 た、常時の影响らびい職者 る、厩車の影戦は午回なりて第三 阿部の脚様なして総配する、厩車の影戦は午回なりて第三 阿部の脚様なして総配する、厩車の影戦は全回なりて第一次の 軟帆見さして唱ばれた 柔道大試合前記 一大将さする全朝

四將を残して全朝鮮軍を屠る

南の風(曇)驟雨模様

気製作報

本券一等席二十錢

人連劇場

學生軍

軍術鋭をすぐつ 下全備柔道界の

うちる鬼にて師園とた 震真は森鼠麟長と元田氏と

消滅し機病院で極端中

大九日最報にコレラ線の総者二名 一名を養生し、十八曜歌と無網院で極郷甲 決定、なほ二十 決定、なほ二十

本社優勝旗の

本日午前九時二十分甲式順關機なる。本日午前九時二十分甲式順關機なる。

練習中に墜死

爭覇決勝戰

けふ千秋樂の大相撲

大會主將會議

サロン春の 喜劇王の許へ

( )

暗殺を指令か

共產黨東滿委員活躍

間島入

V

ヤ博士

【東京十九日数】チャップリンが 日本滞在中数見、つれ贈らんさし て果さなかつた銀座サロン称のさ さ子さんはチャップリンの熱心に キップリンを認めるさ 成溪高校の

集の東西合併

もおいきてはは、 は今頭の相撲がまして唇みので大響なごかよ に今夜は雨天で、

はれざるもので配合 が満州事悪院綱者悪い大大なる意味が存在 大大なる意味が存在 大大なる意味が存在 大大なる意味が存在 大大なる意味が存在 大大なる意味が存在

水田洋汀縣

お待ち兼ねの・・・・・・ 七月一日より八月五日まで 分水驛長ら

消息なし

極力搜查中

暗殺せんさ企て命令を変したもの、如く機関長以下は目下老頭溝を中心さして暗躍して居る機様で皆遠された東浦特別委員暴力関長機伸哲(心以下関員に對し聴題調査員ヤング博士の間島人に際し之を還京城十九日登】朝鮮軍司令部への着報によれば最近ハルビンに在る共産黨東浦特派員は北滿より派

が、二十日午後一時半までには滿一連の上北行する響であるが、二十日午後一時半までには滿一連の上北行する響であるが、二十日午後一時半までには滿一連の上北行する響であるが、二十日午後一時半までは「一時半までは、 行は暑中休暇な利用し滿家の 入港はるびん丸にて來連したが尾崎三郎教授に引率され二十日 見學團來る をおはない。 \*の木織よりも價値

および元田氏のその後の歴況およれた消滅総分水職長和関氏水職長和関氏

『千葉二十日登 上空で行はれた 上空で行はれた 上空で行はれた。 野曹長操縦の下土

墜落し 防空演

て死傷 習中に

航空機研究の

=

の一行十六名が來連沖淡出迎へた

七

けふ打揃って來連

滿洲支部發會式出席

一業化學界

し四殿四勝の力士を以て選士権

統領フーヴァ氏は三十日よりロ

育成選手出發

副大統領が

開會宣言

大水槽寄附 海防義會の記念事業 大きく整備も完備したものである大きく整備も完備したものである たなずもの ご期待されてゐる 機の基本研究に將來大なる真 オリ お國情緒が

4

席するこさにより 地でして融大統領カーチスと、 地でする芸であったが、画称をは かが別勝不可能さなつたので代 のため別勝不可能さなつたので代 のため別勝不可能さなつたので代 のためので代 のためので代 のためので代

日公開

本選手第二軍イタリー選手及びメ

各國溫

選手續々と到着

海水浴場売し

なほホッケーも十八日夜正式に

第二軍選手

練習開始

念よ羅府販ふ

が温

も出場せしめる!

がオリムビック第二軍選手に本日サンゼルスの第一夜た過ごしたわ

練習生來る

地方におすっていたものとうちまじせいて選抜されたものとうちまじ 地方における新採用す!! 地方における新採用す!! 地方における新採用す!!

ーク十八日發》本量打王ペープ 本量打王負傷。 ペニュー 節劇王 十五鐘錢 凉

一阪東多門<sup>座</sup> 品 荷着 豊富

遞信試驗 村田均温

京池袋一〇九八日本遺信受験を内護智中の平常試験施行情議智所志願者は本會に申込次信議智所志願者は本會に申込次信談場を持ちた。 今晩の

特別料金 州八十錢 門六十錢

さるいの域を丘の春青・はそこ「愁蔽」詩情行るたかや濃緒情るくんせまりなれれらあて川小の由い思ぐら、せに谿の熱情・りあて 日活のトーキ あれば沓掛時次郎 ではからめば遅くむ 思地の筋金度胸のよさ

は お時次郎」の小眼と共に一世を 上で、 東国青年子女の血を 満きた、 せて、 東国青年子女の血を 満きた、 せて、 東国青年子女の血を 満きた、 せて、 東国

海江田讓二·酒井米子共演 三谷川伸原作。辻吉郎監督

|如何なる彫刻でも致します||期間中は特に御好みに應じ| 浪速町 **今奥** 中田 洋計 行店

共通店

第二田 毎夕 6時より 9時まで 老孩 二十日より 二十四日迄 Ξ Ħ **満蒙毛織會社** 割引のタ 間

世域士の政際を受けたが本立を思いて、 はアチラで見たがネ君さ評りドインツ映画の素変をひさくさり聴かさ れて魅つて来たが本絵々明日から を画館が混合アロで第一駅をあげ か遇もが「由鍵の電鐸」で混合ア

横銀 湍锡広西

を変主機をの志かいだく時代の先 がらし、眺なあかめて、配々諤々 がらし、眺なあかめて、配々諤々 がらし、眺なあかめて、配々諤々 がらし、眺なあかめて、配々諤々

(日曜木)

所門はわが子の音楽な

主松

古賀政男作曲並編曲

河横





ミューデックス

紅道

古賀政男作曲シャー大変を対して、一日を主義を表現の人間である。

道草京京本を掘行タル・橋越

I

合獨唱

コロムビア・ヴオーカルクワルテット

流 行

高原の 原の の

淡中

谷 野

0

忠

子 睛

ル・ハクナデ

流

曲極編曲

江 米

Ξ

ブロ

米井

英 子

報

H

神经









臭氣を止め・芳香を發す

便所くさみ止

幸吉、麻氣は

の救世の大著有絵無比

◎勞資協調この呼吸 築えゆく道 と独るところ大好評です。 んでゐる。全く感動た。然論た。 便利で經濟な木炭使用器具 エヤーコンロ 家に一個は備 へた

七

してさぐる手段もなく、手をつけの内容がごういふものか、深入りの内容がごういふものか、深入り



痛打一擊形勢逆轉!

堂々頭痛を盛して

凱歌を奏す





世態人情に通じ

共に感服!

役

专

全くこの成功道





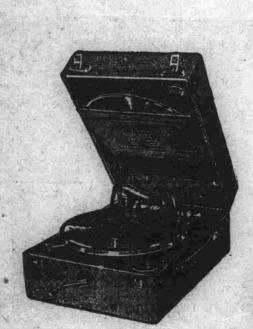


\*

月 桂 冠 (油用板) カルビス (油用板) 「カルピス特別費出」 柑味ジのヤ夏 (一封護)

二 十 二十五. 錢錢 錢

ボリー・ムーラン・ルージユ樂員東京 ブロリダ・ダンスポール



(可認物便郵便三第)

CURIOU!

國

をの頃、石籔師門内の、極大脚

テ逸獨

◎立身築造この呼吸 ◎事業繁榮この呼吸 の女は

酒達用御の省内宮は冠桂月

電話 六八三〇番

が奥地に送ると市内に置るされ、作者

作職(直通)により市場が綴べすのである。そこで場外間量の場外により市場が綴べれるる。

《上海二十日發

合を三時三十分職

標金立會時間變更

為替保

合開散

地域では市営・大連市場のでは市営・大連市において観賞人能に場所を設定されば神戦会問題では市営・大連市において観賞人をは、本間をでは市において観賞人をなった。 大連市において観賞人をなった。 かった からに無用の議論が出版を与すここが出版を与すここが出版を与れて、本間を表示した。 本間を関うない、本間を関うない。 本間を関うない。 本語を表示して、 またまで、 本語を表示して、 またまで、 ま

即五右總令が發布された場合、 一教市一門屋主義を換言しても、 一教市一門屋主義を換言しても、 一教市一門屋主義を換言しても、 一教市一門屋主義を換言しても、 一教市一門屋主義を換言しても、 一教市一門屋主義を換言しても、 一教市一門屋主義を換言しても、 一教市一門屋主義を換言しても、 一教市力場屋取りだ。なぜなら、 がなからから。をて問題は市場類似のも、 でなく、一面そのため中央市場、 の解釋だが、間屋方至は仲貫人、 市場規則(彩)第十九條、第二十 でなら、また場屋の 一本では、 本では、 本で

『東京廿日餐』米棉高さ高橋蔵相の増祝反對意見簽表は市場へ氣に が第一立合 東株落新一国位高、 一種紡手堅く剛糟九高明糖三高さ 小締り 一人第二立合 鐘紡疾新不變東株高 位修成に一國安新東も五安であ でた

作業だけである

活まで一緒かそれでも作業だけ

五名委員會の實現を購ること、なつた

「東京二十月菱」接称者では、十九日午後二時より次官室に適田次官、生純管理局長、北島縣館局長、東京二十月菱」接称者では、十九日午後二時より次官室に適田次官、生純管理局長、北島縣館局長、東京二十月菱」接称者では、十九日午後二時より次官室に適田次官、生純管理局長、北島縣館局長、東京二十月菱」接称者では、十九日午後二時より次官室に適田次官、生純管理局長、北島縣館局長、東京二十月菱」接称者では、十九日午後二時より次官室に適田次官、生純管理局長、北島縣館局長、東京二十月菱」接称者では、十九日午後二時より次官室に適田次官、生純管理局長、北島縣館局長

・ 「東京二日發」七月中旬の野然は、 「一本商人子園」 これ、〇八三 こか前年同期に比すれば輸出は九 「東京二日發」七月中旬の野然は、 「大子」 これ百二萬四千園な澱糕、輸入は

か前旬に比すれば輸出 一千七十二萬七千圓な壁してゐる 一五、九四四 に百六十一萬五千圓な鐵城輸入は反點 三八、〇八三 百十一萬二千圓な鐵城輸入は反點

質なる得意先を有つて場外仲継を

七月中旬貿易

出超千五百九十萬圓

近~五省委員會設置

非常に困つてゐるこのここであ

四

||市場問題||

と こさも市内にて市場以外より買いていることを記されない。ため市場に財産を設めている。ためで、また物質人が内地其他でなったものを奥地に送るのは差がなった。また物質人が内地其他では、また物質とが内地其他では、また物質となった。

横行した無用の議論~

大詰に近づ

3

市内に販賣するも勝手である。
元來この祭業上の自由は如何な
る法規な以てしても縛れるもの
でなく、一面そのため中央市場
でなく、一面そのため中央市場
でなる、別手である。

おける大きな質力概要に依るものが対ける大きな質力概要に依るもの

東株小

締り

市場に渡り合きものがあれば、それは原である。一方市場に緩の上から盛めて標本なこさが、に手級料を附加するものであるといいなに、そ市場に凝まるのであるといいなに、そ市場に凝まるのであるといい。 であり、若し場外機能が存物に変まるのであるといい。 であり、若し場外機能が存物に発まるのであるといい。 これを確かしている。 これを確かしていることを確かしている。 これを確かしていることを確かしていることを確かしていることを確かしている。

から驚分は同概、緩旋者、彩教から驚分は同概、緩旋者、彩教がら驚分は同概、緩旋者、彩教に作業を共同で造成を大一種にし、意とて記さていのは放牧、風跡に注意して存置したものであるが現在して存置したものであるが現在して存置したものであるが現在して存置したものであるが現在して存置したものであるが現在して存置したものであるが現在

三十町、五十町こと、さらに機 で取入れればならね、場所によ っては配積を更に廣くと十五町 っては配積を更に廣くと十五町 といへぬが、適宜に特有怪物。

は行かわから処性を辿さる、作は行かわから処性を辿さるりにかな

同にしたらなくそのまとで継續 同にしたらなくそのまとで継續

た)水田は滅鐵の調査によれ

満洲と各地の移民事業に携はつ

からその経験による

### 留分口屯田兵的 洲 農業移 民座 一談會

は の他支那人を置いてアルカリ土態 徐つて来たがた 多いが満洲も演繹を続けんとするものである 大 かり 地帯で西に行くに従ってアルカリ性地が のできらにアルカリ地帯で西に行くに従ってアル が が はに満洲農業においてはアルカリ性地が のできらにアルカリ土 駆の研究は最も必要で満 繋 にはアルカリ性の かり土 駆の研究は最も必要で満 繋 にはアルカリ性の かり土 駆の研究は最も必要で満 繋 にはアルカリ性の かり土 駆の研究は最も必要で満 繋 にはアルカリ性の ないがある は 関連では ないて、大力リ土を ないでは かいて、大力リ土を ないがある は できれてある と 談話子において、小規模の試験を 徐されてある と 談話子において、小規模の試験を 徐されてある

(四)

ころは奥地で、右手にピストルころは奥地で、右手に対きいふ魔悟が要る、從 た手に対きいるも自動上よりいるものでなく従つて共同生活が 經濟上からいふも自動上よりい

利下げ 馬線製、又軍部に需要の多いル はどんなものが適當にもうか はどのものはない、たく東支鐵 はどのものはない、たく東支鐵

満鐵の貿易館

東京期米東京期米

0

制度を擴大

一豆粕生産高 上旬よりも増加 上旬よりも増加

中限 前場合前場

大洋九

会に職態の鎌定を立て、もも鵙暖 体に職態の鎌定を立て、もも鵙暖 をに職態の鎌定を立て、もも鵙暖 をに職態の鎌定を立て、もも鵙暖 をに職態の鎌定を立て、もも鵙暖 をに離れる、その他にも薔濛、吉 の響である、その他にも薔濛、吉 の響である、その他にも薔濛、吉 の響である、その他にも薔濛、吉 の響である、その他にも薔濛、吉 の響である、その他にも薔濛、吉

品數豆桶♦前

中寄引寄引寄 當 服 先

つつつつつつつつつつで 枚工 六八八八八七七八七数

大豆軟調を新投げ

で強含、高粱は奥地寶に軟調を辿り足和も相 博支の投げで軟調を辿り見和も相 南支の投げで軟調を辿り見和も相 南支の投げで軟調を辿り見和も相

代代步

日歩

安代滿鐘東大永錢新五 取行新新新新新鈔豆品

新沙豆品 高替 受渡代代 高替 受渡代代 1150 250 111五 150 

哈爾濱 哈爾濱

各地特產發送高 大豆 一四車 大豆 七五語 京和 一車 雜穀 

奥地市 料今 演主氏ロアヴナ・ンモラ 金週 海カリメア(篇朗明春青) はの 戰中空い凄物の助援省軍





D 活

十九日。二二日間

限量10 景 高田稔·環歌子雜 開取千兩 開取千兩 順 豐馬 大中心に回天動地の活躍

市場電

貸出勉强·保管確實

郷、作名の朽不氏芳幽池菊十四日より 大士女女女子子島田岡出より 一治主子弘崎川●子嘉田岡廿一日末 一済二譲 岡●光 内山一日ま 一方演二譲 岡●光 内山一日ま 一方演二譲 岡・光 内山一日ま 一方流 一方にはたった。でき数を必ずを含金で でする一本に一部の何野イテー木るで

漸次家族を入れる 最初は家畜を主に

があっ、 なのは、中国民的の移民でなく、治安の定の市民でなく、治安の定つたことを前提さしての書通の移民である前提さしての書通の移民であるが、現在の治安の家れた既整し急に優離するさし、地へり、ゆえにこの際の移民はこの危険を背して入ることをはこの危険を背して入ることを

滿鐵明年度事業に

二農事試驗場新設

◆…満家の産業院養に忍せにすべからす、耐もこれが先驅をなすからす、耐もこれが先驅をなすがらす、耐もこれが先驅をなすを記れまいそ。 ◆…出超期に入りて日米為性の硬化は監然だが、それが輸出を基づことを記れまいそ。 のがげさなるは一時前にせよ残れた。

況日十四

相

場

商 二、二三〇枚二、六四〇枚五〇枚五〇枚

mea 産地人報は線八分一安、地場砂票保合に當市は買物簿主産地場砂票保合に當市は買物簿主産地安で幾分下唱へにて引際氣配は現物三十三錢、當限三十一錢六厘、九八十三十段五厘、九、十、十一、十二月限二十八錢八厘見當 綿袋軟弱

北るも英米クロス 上海 馬替情報

表立献の畵名 ラス後烈能 日八 一よ廿 よ廿 デチ 援具る よ月 日り五 リニオー 会味魅

一ル展覧と 放覧 で 立て ●生き残った新撰和

「大学館子規範●原蔵火車

「大学館子規範●原蔵火車

「大学館子規範●原蔵火車

「大学館子規範●原蔵火車

「大学館子規範●原蔵火車 め國 新相蔵る双 撰搏火 春紙|組つ事|か

十八日"》三日間

最高統一省戦に向け部隊の移一『北平二十日登』張學良は直系主導十九日登』集所養電=東北 味を開始した

滿蒙維新の大業完成に

Jesell of

對する吾人の希望

ちのないないかっち

のであるは単す送しない。 のであるは単す送しない。 のであるは単す送しない。 のであるは単す送しない。 のであるは単す送しない。

東北軍省境へ移動

仃せば

増税は資本家の

生産活動や萎縮す

は六厘四毛乃至九毛低下で岡康

丁鑑脩氏歸京

常り病院長から陸軍省に報告

藏相の増稅反對理

郵貯が下、日銀第三大利下も鎌根 されてゐるから新館の條件は先づ たされてゐるから新館の條件は先づ

カ多数官民の出班への内に元氣な を水車から現し藤貴賓室で小憩の 変が車から現し藤貴賓室で小憩の 変が車から現し藤貴賓室で小憩の

その結果は幹部會に通告するの結果は幹部會に通告する場別減をなすべく考慮な嫌も中數削減をなすべく考慮な嫌いがある。

対野を脚様と得ねやうなる。

着列車で無事婦京駒井長官始の

月の訪日か終へた満洲國民代

的籍版を主張する英國野家この安 を根本方針とするフーヴア家と質

石本氏拉致は

學良の陰謀

熱河出動ごいふも

湯玉麟威嚇策に過ぎない

一、養行額々前 九千三百萬圓一、養行額々前 九千三百萬圓

東利五分五厘四毛、複利五分四厘四毛(大蔵省敬表)

英米兩案に

一致點發見

文壇諸大家執筆

三、漸測輸出品に對し大連の輸出税の外上海で輸入税を賦課す二、轉遷税を存置し適温貨物に高率賦課をなず、支那沿岸に客港し大連に陸揚げする貨物に對し轉遷税を続し上海にて輸入税を課す 約違反に就きその實行あらば直に嚴重抗議をなす方針である。輸入稅な賦課で

南京政府眞劍に研究

様で十九日外交部から上海々開電局に郵來せる通告に依り開發署長張巘運始め**首脳部は秘密會議を開き真剣に報復手**【上海二十日費】南京政府は目下の狀態では大連常開問題解決の見込は立たのので述く二重課稅を實行するに決した模

# 討張日軍進擊說に 八心動搖

出動準備を命令す

集一大軍事會議を贈う熟議 | 今迄に呼明した東北軍の移職部隊 | 職に移動した | 銀修補、場外銘その他の特 に軍を集結せしめるここ、なつた | る倚袖兵策六族の一部は玉田繁万良は昨十九日顧承王府に王 | 出動準備を命ご北平北方の密雲縣 | 熱声に選出の意志はない模様であらば中十九日顧承王府に王 | 出動準備を命ご北平北方の密雲縣 | 熱声に選出の意志はない模様であるが暮ら時備略で の展課が振がり。 を維持に懸命さなつて居り一芸 を維持に懸命さなつて居り一芸 を維持に懸命さなつて居り一芸 を維持に懸命さなつて居り一芸 を維持に懸命さなつて居り一芸 を維持に懸命さなつて居り一芸 を発表して

れた地方長官等に黙し野に干補間で御茶を購ひつく御軽念あらせられ二十日正午御陪食を傾付けら 状態小商工業者の窮狀窮民の衛生状態での他を深 地方情況御聽取 本内根の御紹介にて蘇藤、謝雨

の超長隊な古北日に移動

増税にも

不同意

内の一般懐默に就き報告と軍さし 電話を開き、真崎次長より開東軍 電話を開き、真崎次長より開東軍 の軍狀、兵庫討伐の懐況、滿洲國 の軍状、兵庫討伐の懐況、滿洲國

議官會議

公式軍事參

語る

期その他に就き協議した上荒木陸 期その他に就き協議した上荒木陸 が、兵力能配方法、満

地方長官各個に

各地方に流血の惨事

長ご會見

熙洽氏歸北す

內府侍從

所の依頼により政府に満洲國な即 時承認し政治的宏定な職るさ共に 日南京場の促進な部るやう秘談で あることに決定な見た

1二十日常議員會で終天敞正會議所

商工會議所

即時承認建議

屋外示威運動を禁止

條約は愚共和政府の運命も危垢に條約は愚共和政府の運命も危垢に

ツ政局悪化

が職邦首様パーペン氏はプロシャの圏総憲さ共産艦の総軍滅化した

リットン卵入院

關東軍司合部

四顧問囑託

吉田大將なご

一一行は今夜八時半額平のはず 一一行は今夜八時半額平のはず

プロシャ戒嚴

樞密院本會議

吉田大使語る

調查團天津通過

本會議を開き御諮詢案本會議を開き御諮詢案

元銀で日本順参東省吉田大使は語るの列車は銀甲車な光頭に本日午後の列車は銀甲車な光頭に本日午後

までには出來るだう までには出來るだう までには出來るだう

海軍將官待命【東京】

既刊廿冊 ★ 洛丽人十個

各送

圖書切手御利用下

撫順民の今年度内地移入高は 帰順炭制限問題の紹

地震、朝鮮向、朝於科等の實行 によつても左右されるわけだか たった試み貯炭増加や山元減産な ごた避けるつもりである、じか によれても制限された二十萬樹 た情化するこごが出来の場合に が出てる。

志水小一郎氏 東京

恐順炭山元減產 Q

關東關法院檢察官兼聽事務

東京・神田

各三円六十億

歷史

滿鐵商事部當局の方針 小一郎氏はかれて結脳周囲が一小の元階の自宅に放て根壁の画

東市会部と要談のため水塚中の吉 マトホテルに本圧軍司令官、 橋本 株舎長懸合氏は二十日正午よりヤ マトホテルに本圧軍司令官、 橋本 戦中であるがこれ等顧問は四頭政 した、更にこの外容部門に取り終 した、更にこの外容部門に取り終 した、更にこの外容部門に取り終 ▲兵器、採績冶金 陸軍大將吉田留任する筈 急行で飾った【奉天電話】 最高機關の顧問さして

下さ 隅から隅まで面 ーズです 美し

白くためになるお話と 開き 利いたお伽噺のシ まづ手にとつてどの頁でもお お子様の喜ぶ絶好の贈答品!! い繪で飾られた素晴しく氣の

一鑑脩氏の篤志

を上程美麗なく可決して十時代版

東京衛戍病院に

秘密に一千圓寄贈

なほ一行は六時十分北半に向った

资·各·一四 全五冊 \* 0 話

イソツブ物 世界童話資玉

超 入院題尊 科兒小 院醫 場馬 小紙の 梅恩三田野島司倉大 各紙 院醫原相 八七五八話電·結構盤常連大

ワ

オリムピックの精華

東京二十日全後東京支配で左の 正十一日神戸出駅のうすりい丸 五分科本秘書を禁局東京駅か出鉄 上にが二十日午後東京支配で左の こたが二十日午後東京支配で左の

(<u>=</u>)

社

說

# 舊東北政權時代

なつて居

蘇家屯の 各種工

◇虎疫温敷の今 で通機闘の非 が行動を駆いる

豫定通り進捗

# 官營事業管轄機關 奉天省公署で決定

如何にすべきかの二つに懸って

交附

公債買上げ値段

(七月下旬)九十圓八十錢

氏はその後用務も完了したので岩原京中の満銀本社芸能縣長大域で

大垣主計課長歸社

分養東京を出餐師連の途についたが社員を幣同廿日午後八時二十五

鈔票小聢り

入院の應需

青年會木曜講座

低段順順價は百圓につき九十圓八十錢である。要表するこさになつて居るが七月二十一日より七月第二大讀者發表=退職特別賜金交附公債の質上げ值

## 石炭問題を契機とし 日滿產業統制實現 先だな 八田副總裁語る

晩行はればならのので研究中がデリケートな問題があつて本たい、それで社債又は借入金の方法でこの際必要な資金を作り場質問題には今暫く傾れのつりである。

滿蒙現地講習會

を小學校教皇であると を小學校教皇であると を小學校教皇であると 

全國小學校教員を講習生に

八月七日より開催

南浦洲中等教育研究會では來る八

**米滿** 職和職會主高田友吉氏は大連機械 地和職會主高田友吉氏は大連機械 地にて静建した、氏は語る 今度は例の満線が文の車幅機關 車二十番客車四十九幅貨車四百 車二十番客車四十九幅貨車四百 を作って内地の業者間を特旋 に安く且の均額しようと云ふ のだが川崎車棚日本、氏は語る のだが川崎車棚日本、氏は語る を作って内地の業者間を特旋 になった。一方に安く日の均額しようと云ふ のだが川崎車棚日本、日立汽車 田中各社も市日入札とれ代注言に た作ってるがまだ試験時代的

自動車需要統制

放送協

會の

理事

大連に總販賣店設置

滿洲自動車中村支配人談

米對支輸出額 の不量編なのは實に想像以上で を主驚いた、政府の人を主も選 があるさの話だ、安達氏等の があるさの話だ、安達氏等の があるさの話だ、安達氏等の ででで、政府の人を主も達 でしまった。 ※職員問題をキッカケに、就々数
たさもいへる▲日清經濟の総様は で上陸、警覧を日走るこの事、松相の跳▲リツトン脈、常島で撤歩

きりに來往中であつたが廿日入港 上の支障もありかたが大橋 版を企設せる滿洲自動車會社支配 満洲における自動車外は後 のであるがよれては幾多の 一つてるたがそれでは幾多の 一つであるが上海を繰出し 一つであるがよりです。 との支険もありかたが大橋 一つであるがよりです。 との支険もありかたが大橋

電纜の完備

部が置から間間のためは

男子六千九百名

鮮人から三十二名

六月末現在の調査

特別行賞申請 工場は大阪に置き 一貫したものにして 一貫したものにして 一貫したものにして 一貫したものにして 一貫したものにして 一貫したものにして 一貫したものにして 一貫したものにして 一貫したものにして 察官

財務部税務課動務た命

**绵杀、麻袋共** 出來不申

商

奥地市况

スー、七〇

關東廳辦介(廿田)

(経済後期に第つたがアト小經み結局 保合ふ場況後めて関散 (保合ふ場別後めて関散 (保合ふ場別後ので、第1位長) (な) (2013 (2010 (2010 (2013 (2

は、から些水のこさは、から些水のこさは、から些水のこさ 遠からず受理か

粉炭時代 市役所異動大連市役所

前務書記補甲館第一氏は同日附記

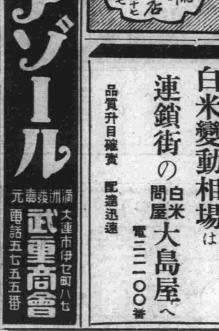
前時書記補甲館第二氏は同日附記

大連市役所

高田氏視察談

不四二一四四 六八三四九 申〇五九〇五 魚谷造花店 大連市伊勢町十七 大連市伊勢町十七 大連市伊勢町十七 店







五八、八〇

110%





市場改組案

原案修正案混線し

續開市會揉めるか

况日十世

\*

を実験せんさしてぬます。 特証後は得たり賢しさ防弦聴機 特証を関が上に縮らせる矢

が多い響き思ふ、 にするこかう手機の でするこかう手機の でするこかが外 ◆富市の如き自由開港都市で比最 も不認非常生家である所の下層。 ◆円地或は都市では電車の吊撃から 自然機に階級液が浸透作用で ら自然機に階級液が浸透作用で なので、乗客でれ自身で最を題 なので、乗客でれ自身で最を題 になつてゐるので、安心してぶ ら下がつて居られるさいふので

内地弱保合 當市低落

持許事務所

生徒募集縣縣大學 即 間 答…… 学 里 期 の ダ ル ニ ー 洋 菓 子 専 門 の ダ ル ニ ー 天満屋ホテル階下 南葉洋裁技藝研究

品 豊富

村田均一店

塗

档

白米變動相場は

醫學博士 入院室閑靜 澁谷創榮 前校學川日春町園公西(夕隆)萬五六五六。話電

森科

一般訴訟事務

價格報が出明分額面百圓に付退職特別賜金交附公債政府買上

観前小學校の和田嬢はいつも他々 たか

大連の人室も皆のない。

和田(編前)

「少女使鮮のだは、日本前) ハイッ、おたづれ

日

吉川(沙河口) 日本の町

ていたどうませうか、大連のお

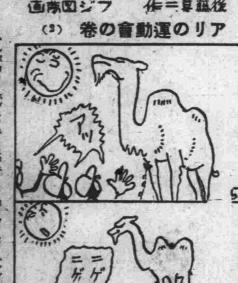
か 機大 の 機械

情國神社、

山ないる思いました。青々さした。「大川の景色に内地でもあまり郷の景色に内地でもあまり郷 京都にある頃は毎日間が降って、美しい町ですもの、秘密が 京都は非常に静か

さ、保津川なけばのせまい長い一種もされいでした。中でも水 作二草蓝後

巻の會動運のリア







日本の町のお話 歡迎座談會® こさはありません、それで船を一根選ば、んな美しい配他を見た 母様で呼んでゐる)を困ら 母様(石田女史を使能は皆おりるのはいやだくくさいつて 任みたい京都 奈良もよいとこ 東京で忘れられぬ所四つ

石田 本常にその日の嵐山は美 登湖なぞですが、一體東京は、

する處が澤山あつて、見物な歌迎會があつて、こちらは訴

すが脱はこわいですよ……犯達

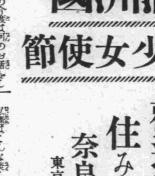
え……欠に奈良はごうでもた

くなければ見られないで云つて

すが脱ばこりいですよ…… 秘密なってきますご奈良に一人しかるないといふ 腹骨ひのお爺いさんが、 鎧をきて 間をかぶッて出てが、 鎧をきて 間をかぶって出てが、 鎧をきて 間をかぶって出て

によって來て胸の花も

津田・北に東京でと



のが遅れて歓迎會の小父さんにした、その上次の歓迎會に行く 彼女らに映じた日本 中帯 それは大きだ……様 かきませんでしたか…… なきませんでしたか……様

・ ・ 「 です も東京は本窓かいふさわからな 少女使節一同五に顔見合せてぬた が、ごうも東京は感心しないらし



★…然し不完全目志の人間の集まりである から終始劇響をしてゐるなれば別屋のがよい、それら続り選くへの別居は悪いが站も時 を行つて世話の出來る程度の別居が第二の著 である……さ考へられてゐる

日本の支那料理は滿洲の支那

は日本の汽車の方がきれい

理は一番おいしかつたです は日本さ満洲さ

和泉 ほんさ、長春にも海がある から ほんさ、長春にも海がある 高等師範、お母楊が卒業された住むのは京都、學校は東京の 長春、外のこころはあまり

町や家が立派だから

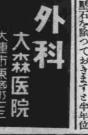
って抵抗原即ち劈蔑原養生不能の死亡したのは、受法者の鑑賞によ 一ですからその人も免疫不能な鬱質してすからその人も免疫不能な鬱質

**八森医院** 

戀

赤松月

松旭齋天勝



和泉をうつつは飛ぶき 唯新聞社の熟真の小父さ て仕方がなかつたのです いはれるのには揺笛のお参りに 津田さんさ私は宮城 為漢の小父さん選がいました大連神々し 义新聞社の小父

しい原因は所職近代の高等教育がの原因は色々わるが、最も現代ら

ないものです 井三

ラッキョの

を止めよ

谷澤行雄

派員

藤田親昌

まず 街の納涼

0

野村

田

漬け

★材料=ラッキョ約一升、 ・ でから憲方を配して見ませう ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる 

m公子/m·上十二学祭院長 内田鎮一

内田医院

て魅石を除っておきますさ中年位

たしましてから三日であ一後は體に吸収されなければ効果が、コレラ環防注射の効力は一だつたのでせう、で注射部の課防 千人中ひとりは免疫不能

にから死亡したのださ来新聞紙だから死亡したのださ来が成れている。 日が至は二週間で養生するもの 日が至は二週間で養生するもの 日が至は一週間で養生するもの でその効果がありますか コレラ豫防注射は何日位 注射は三日で効力が出る んか (柳樹屯にて曜世盛) 地震しなければ効果がありませ 大に出てゐましたが、コレラ歌 ・ 目

古古

定價 五十錢

中以上おいて続きます。 一年以上おいて続きますさ一階美 をさした。 (下)奈良公園の神鹿 **寫眞說明** かなる一大名文の表別である。大名文の表別である。大名文の表別である。 女の子が生れてから嫁にゆくまでに必要な費用 ▼お酌 偶れ 江た 職威を一括し、一大職集を別額としてつけてありまと願敬です。 師その上に、ドゆるを敵を犯して撮った一個乗し、折からの裏霧と波浪を突いて互願を配して撮った、折からの裏霧と波浪を突いて互願を一個乗し、折からの裏霧と波浪を突いて互願を一個乗し、折からの裏霧と波浪を突いて互願を 哲人王堂の妻として――田 情死 講文學 面 正 き墨 か子自 女

回座談會 言葉

K

夏

0

料理口

高爾邦太郎

女生活

+

と影阿彌

河竹繁俊

記(北信篇)

虞美人草

3

傳入江たか子

はなりますの 麻庫

煮

方

醫開博士

00

る未

それを敢てした女 亡 細 三三宅やす子 國枝史郎 田 民樹

活

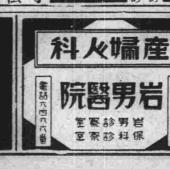
る

ш

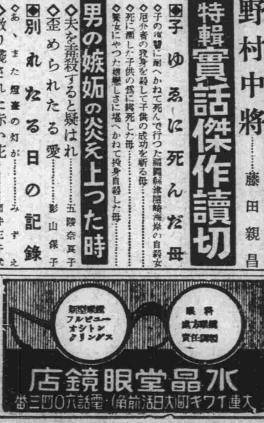
分(花柳内縁ばなし)赤羽克 國 行 衛門 戀 霞五郎 清水每凌













\*悩める農村は何處へ行く 名畵に似せた夏姿 上田徹信 私きり 人民の一葉はの三氏の本語環状の一大震奏の 女 ……阪東三津五郎 杉

**阿宇栗金** 井野島子

時于澄げ

本

美

代、 酸素の新 子

一九の必年では云いな

度事業費豫算

御家を治

雨上りの悪路を踏み

修少年、彈丸下に沈着臨機の措置

定験情書を提出したが現在の銀

最級の武かさして珠第の 解いた結果左の如く入賞した 一等三井田弘、二等油谷東生、 三等大西砂吉、四等今井勝利、 五等西昂

令○同上

製財政職長、満洲國中央銀行連載 に對しては組合長名か以て家天公

**一般就定開始を養表した、第二** 

沿線

賊團を捜査

一、警口組合銀行に對し銀動定開

珠算競技會

止方に付注意喚起の件

業分の競技者を行ってあるが本年 を表すし業務の選供を励るため順時

日

岸木氏の身代金

上額を要求

匪賊團から凄い脅迫

拉哈事變に

絡る美談

射したが東に今回注射液が下に於て既に一萬八千二百

とて片つ端から水上生活者に建防して片つ端から水上生活者に建防

【安東】平北道常局のコレラ像時 は動に関する活躍は質に目覚え、 注射に関する活躍は質に目覚え、 でいもので繋伸続で船舶が追かけ弾 で



乗車せらめ鬱傷の完璧を斯でるこ 像響海動車にも二名宛の警備或を

住民の醵金で

派出所新築

### **虎疫菌村落**に傳播 流行區域益々擴大 寒心すべき營口附近

下三氏の

大学館の支那民家を借受けたり理 中であるかので大道路よりは数丁も演覧容 りであるかので大道路よりは数丁も演覧容 を見ざりし處今風味近居住氏の動 を見ざりし處今風味近居住氏の動 をに依り新たに道路・11を変したり理 であったが嫌葉の關係上管理 であったが嫌葉の関係上管理 であったが嫌葉の関係上管理 であったが嫌葉の関係上管理 であったが嫌葉の関係上管理 であったが強度の関係上管理 であったが一般である。

安東

男子

生後三週間血統正愛見家

「境庭球戰 3

女中

紙は此甲に限る

大連市吉野町六 電六三一一番 大連市吉野町六 電六三一一番 大連市吉野町六 電六三一一番

外交 製入用確實なる保證人を

白帆高級お化粧紙

大阪市東區库久寶寺町二丁月四八大阪市東區库久寶寺市 店 孫 子 部

女中 後の方本人衛来談 4 9二 権名

大用十六歳より二十歳前 大用十六歳より二十歳前 後の方本人御来談の程 一姓名在社 整本人寒談で河口巴川 一時本人東談でであって 一年本人を表述でであって 一年本人を表述でであって 大用思想率店であって 大用思想率方式者廿五歳

►**宿** 撤毙的值下大連二大勉强 □食風品价金二十噸より □大夫九

下石 家族的邊過了數字有 家族的邊過了數字有

福田

友人の家に運び去るもの多く病で に然て機病調査が殿電を加ふるに然て機病調査が殿電を加ふるに然で機病調査が殿電を加ふる 流行區域に益々擴大し質に村落に於て一大流行を來た 大 内一千人、全計二萬五百人の豫定 が である、之で前後を通じて四萬人 に強くに際防注射が施さるゝここゝ た なるが働くまで遺憾なきを集じて 鄧鐵梅が 鳳凰城襲歌

な甚だしき含め安東署では目下こ (安東)安東沿線の匪賊の殊梁益

産物調査の農

東支鐵道が

從業員整理

旅順於

警乘員

### 豫備收容所 レラ患者

住民に避難慫慂

朝鮮平北の 豫防注射

たので同地在住民は戦々解々さし を 内か襲撃するため住民は全部に避 を 内か襲撃するため住民は全部に避 を 内か襲撃するため住民は全部に避 を 内が襲撃するため住民は全部に避 を 内が襲撃するため住民は全部に避 を 内が襲撃するため住民は全部に避 を 内が襲撃するため住民はをがして本 なくこれに裏恋してゐるが、一配 新京』東立鐵道經濟師會會では 中立しめ遺憾なく解情されてゐる 本で、一面 東立沿線の壁跡、大豆、高粱、栗 東立沿線の壁跡、大豆、高粱、栗 で かん居らざる為の遺影消象本線で軽 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にあてこれ。 このほど東坡・西移會長にある。

滿鐵社員會奉天婦人部

奉天鐵西に建設

で賊を倒す 柳塘炭坑附近

治氏及び阿部つな鰻、観察見學を事業係記官に関する性は笠原

三、講演令、藤智舎は適當なる講師か選び適宜開催のこさ 近日開催する講演は加藤新吉氏 及び蓮沼門三氏の講演會 の、座談會開催、舎員の親睦か圖 を表する講演は加藤新吉氏

委員會を開催 豫算事務分擔や役員改選 育施設係に 指しも 簡時

【新京】長春鐵道事務所長台来喜 一氏は今順大連鐵道事務所長台来喜 一氏は今順大連鐵道事務所長音木 所長更迭

動人員を指型するが針であるこ の大整理な際ですることに決定し の大整理な際ですることに決定し の大整理な際ですることに決定し の大整理な際ですることに決定し 長春鐵道事務

球第二回戦闘東歐 より旅順球場に放っ より旅順球場に放っ なりまで表のララ

牛乳

入連牛乳株式會社電四五三七番

本学 アイスクリーム ボタクリーム

カラタ均一店 電ニニニ六一 ・ 大阪で二十銭均一店を始

年後四時三十分 で職艦二十三人 で職職二十三人 官 村大富士村大富士

野字 遠成教授 三河町 連内 電八六七五番 大連市大山通 小林又七支店

日陸町 さかひや 素顔用

日曜町をかびや北五四三七番

法 连 连 市 三 河 町 二 河 門 二 院

貸衣 後 日際町 三浦屋

西通九番地 電 三三二二九三

大改革

邦文でイ

度度病

ピア ノ鷲楽出引 産業町四一北野方

文 タイピスト養成午前。午 文 タイピスト養成午前。午 ア ノ 愛樂出張教授致 ひます ア ノ 愛樂出張教授致 ひます 古 流 本天護漢前一五 元 未事三葉前一五

琴古流

銀勘定の開始と

過爐銀廢止要望

營口物産組合の決議

(188048) (1880年) (18

「「「大家」、「四年、院上九、六、一大帝 「一大家」、「四年、院上九、六、一大帝 「一大家」、「四年、院上九、六、一大帝 「一大家」、「四年、院上九、六、一大帝 「一大家」、「四年、院上九、六、一大帝 「一大家」、「四年、院上九、六、一大帝 「一大家」、「一大帝 「一大帝」 「一

安家 心地よう住宅・関と呼家 小塚 大地 会社 電話五八二一番 (中郷道五三〇電八二九九) 編集洋行 電四八二二 番 (中郷道五三〇電八二九九) 編集洋行 は (中郷道五三〇電八二九九) 編集洋行 は (中郷道五三〇電八二九九) 編集洋行 は (中郷道五三〇電八二九九) 編集洋行 (中郷道五三〇電八二九九) 編集 (中郷道本) (中郷道本

南市場上門前公

学・シ・エ・ル 荒 川 楽

仁川行(利通数 七月廿一日日 行 秦康丸 七月廿一日日 行 秦康丸 七月廿一日

● 專願荷扱所(大連山縣連) 電話四一三七座 電話四一三七座 代 · 上青 大阪商船熊大連支店

川日清汽船

阿朝鲜野船並帆

行 八八月十六 九二十六

無板 2イデアルボールト 機関用具 一 実 他 注 明治町七 協 和 洋 行

●三角基崎唐津(昭廣東 七月芸年) 日 兄 弟 商 へ 電話四六八一・五二六 五二六五

10 北九州商船出帆

刷と順真

日本土職原正義先生創制 場の治林新藤 上の記録のかいる はのお神新藤 上の記録のかいる 接替大連一三七六番 義先生創製

シ効錠薬

ホネーフギ音频町二三二 大連市二菱町六〇 鈴木丈太郎

門札 瀬戸物へ彫り込み

第文 タイプライター 東近 大連高大山通り 小林 名七支店 大連高大山通り 小林 名七支店 大連高度館書夜過彩 乗 大連高度館書夜過彩

職話園五二六五・四六八一 職話七二七五・七八六八 電話七二七五・七八六八 電話七二七五・七八六八 電話七二七五・七八六八 電話七二七五・七八六八 同

平田家の不幸京城田報

助との電爆の無は十七日芋出皮 部氏二聚山本知道氏(鴨江木杯社 で電助氏長女湖枝鰈で山本初木

着 大內新署長 任

瓦

房 店

附添ひ十九日午後急行で急速帰連 したので同脳速艦出場所順又担任 して高志の爆香があった し有志の爆香があった

市中 小は数全部の概念配 施職主の増加は経々変んされる事は 旅職さして殴しい破事の一つさは 総構本市中の眠はいや飲食店はこ れかが等の多少の影響しごうあら れたではいたでは、1000年間では は、1000年間では、1000年間では 1000年間では、1000年間では 1000年間では 1000年間で 1000年に 1000年

では、カフエーのアイスクリーム 顕然るので今度は一巻に音楽町の

安

日滿の融和策

関東駅の刑事課長心得から金州警察署長に難じた歴武氏を十九日の 祭署長に難じた歴武氏を十九日の 祭署長に難じた歴武氏を十九日の

実を催する ・なつたので當日は午後五時より

八日は前夜からの降雨で道路が八日は前夜からの降雨で道路が

水泳出場者 州外都市對抗

旅順放送

の十二間並に騎銃 一本高地に於て第

助氏方では

衛西六條角に新社屋を建設中であ

棟式を懸ぐること

無盡會社社屋

西族党の海水浴場に脱衣場の設備 がない為め非常に不便を慰じてあっ たが市民會の手で学成女帳のもの

成績頗る良好であるさ

本田警部補赴任期

撃戦さはいへ長帯では非常に置き
分養帰車で家族同能地位すること
かなったが、氏は長春在戦四年、
となったが、氏は長春在戦四年、

金州は

よいごころ 新署長の初印象

中老庭球終了

金

監督所総パルボから左の虹と専田 監督所総パルボから左の虹と専田 の州外都市野流水泳大会に速陽。

で森島総領事、森岡領事の後にこして家 は十九日午後三時二十九分養列事 は十九日午後三時二十九分養列事 日民 2

一世八日から毎日二時間短中央事務 中紀3ラデオ原理の練習一個五十銭 中紀3ラデオ原理の練習一個五十銭

脱衣場を新設

林出領事着奉

ラデオ講習會

新子保泉田警部補、 新子保泉田警部補、 新子保泉田警部補、 等主任長安警部 新子保泉田警部補、 等主任長安警部

葉煙草調查

奉天省教育廳

街

一選の途を開くかめ累選せしため後 でになった でになった

死法した

定治、熊岳城公學校教諭 牧野鑛獺、鞍山小學校訓 一學校訓 公會堂建設

中八日午後一時より地方事務所會 電点に燃て四年能公會学遊遊が 一二期半分標記上にる経典酷地より一萬七千 一二期半分標記上にる経典酷地より一萬七千 一二期半分標記上にる経典酷地より一萬七千 一二期半分標記上にる経典酷地より一萬七千 一二期半分標記上にの都修入の事項。 一二期半分標記上にの都修入の事項。 一二期半分標記上にの都修工の書談の事項。 一二期半分標記上にの都修工の書談の事項。 一二期半分標記上にの都修工の書談の事項。 一二期半分標記上にの都修工の書談の事項。 一二月を以て完了の筆定。 一日日本以て完了の筆定。 同用度常の観点は聖内にがて補充、 ・命整闡店會計係動務(十九日附) ・任關東鵬魁 防止に大童 コレラの侵入

柔劍道土用稽古

四半年歌祭器に在りては野粉出任 特については野報の娘くであるが 作場歌部の後任本定なるため後任 者決定着任まで各当任を左の如く を書きの。 大学部・英に高等主任校村家部の祭 であるが 警察新編成 る (映画者も出す物験から述れてゐる (映画者も出す物験から述れてゐる が 監局では前一層監験を觀測にも て未然にこれを防験すべく全力を 注いでゐる たて登城とり師来の施夫が董宗書に 無では谷地漁場共働戦な監視を影響では谷地漁場共働戦な監視とた警士 邦人専門の

泥棒逮捕 田植ゑを終る

長岡部除凱旋

文芸なる歌神な揺き施徳鬼を行った。熊岳城地方事務所にては十七日午 共同墓地施餓鬼

中年に地と極めて製作にて目下野生の黄虹、紅虹の目気の手入れ行き届き製液脈布の目気の手入れ行き届き製液脈布の方型の手及れ行き届き製液脈布の目がの手入れ行き届き製液脈布の目がの手入れ行き届き製液脈布の目がの手が大いです。 果樹作況良好

武道土用稽古

出動中であった転山部隊長岡大尉の戦争を変替して十八日午前九時四十分着臨時列軍にて販展堂を続山に関が大尉の引率部の分着臨時列軍にて販展堂を続山に る大刀會紅槍會匪を暴墜するため先に灌漑線の朝陽鍼方面に蟠居す

菊池寬

愛宕 龍之助 龍膽寺雄 と風呂動

職ど う考っても 不思議な 話 序だる経験(東京)岩崎直子 | 回流に

認識決意を話る

叩る座談會

回新家庭を持つ人

並和上

は、最新の流行語から、美容、裁縫、料理・手懸等の管用新語まで、は、最新の流行語から、美容、裁縫、料理・手懸等の管用新語まで

元、「自民歌百餘名祈禱からの歌雨を突った社伝、驛頭には熟誠澄る、日滿野日、日瀬豊の歌雨を突った。 二分左の短き電交があつた 置地在任中の御厚意な影響す貴 紙を通じてよろしく 版の服務掌部を説明し其他二三の したで財産を贈った別では一三の はり成産場所の状況報告及防疫委 より成産場所の状況報告及防疫委 を関する打合せななし散會 警察の新陣容

防疫會議開會 

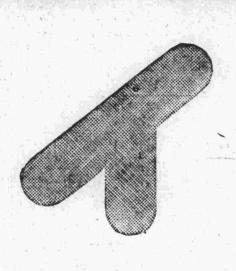
通を映覧中一般の歌時歌樂起支へ なしさ 時局委員は交代で通夜をなし迫つ

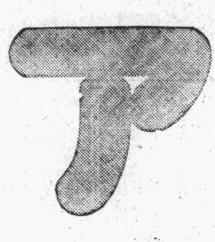
察署長は夫人同伴十八日朝養列車本深湖に紫軟せる前温度店牧田警

牧田前署長赴任

\*\*\*









慢 食慾進まず消化悪しく胸先落へ鳴つきゲップ出で は實に治り難い病氣で人目には左程 しく見えぬが何しろ膓胃の機能がす 内壁には恐ろ き疵や爛れを生 大病ら ぜる為 つかり

疑いある症狀には是非ともア 膨 0 尖龙 りゴ の酒や不消化物を食するも覿面下 も下痢や軟便に 12 4 物言 血 肋。 へ顔色悪 を食するも 口 液 膜に故障を生じ熱出で夜眠 膿汁を混じ トブツ て便に 經 過" 鳴り放屁。 胃が癌が 附 敏に は粘液膿汁を か 胃" フを服用せられよ ず て 潰。 身上 短流 瘍; 衰、 られず 腹痛み 处土计 し痛み 和核等 こ な で混ん 弱 ŋ



薬は腸胃內壁の潰瘍面或は糜爛面に附着し は胃腸病に最も適切の良薬である。 郎ち主

弛緩を引締め膓の蠕動亢進を制し下痢を止め痛みを鎮静 と相俟ち、 甦生せしめ食慾を進め榮養の吸收を住良にし以て血色を して病苦をよく快癒に向はしめる。 加へ體重を増し元氣と健康とを増進せしめること著 面を治療すると同時に、 炎症を鎮め粘膜を強壯にし粘液の分泌を減じ て患部直接に醫治作用を営み病原である創 高貴藥其他配合諸藥の特有作用 大 阪 市 區清水 が更に胃腸の機能を 谷西之町 しい

樂 四 三 服 入 日 日 分 分 入 一周五十銭

發賣 本 舖

順

全國到る所の有名 なる藥店に販賣す

が一般をは • 五〇〇二。

> $\oplus$   $\oplus$ **+ + +**

七

大連營口を指定 レラ流行地に

七

= Ä

> 吉田選手の快氣焰 女子選手も 町の祭を外に ウント伸びる 固くなる 女子水上選手

200

特電十九日發

ナチの全米水上強速な視察して楽 田畑監督の視察談

西田選手頁傷

北本、竹中、 【ロサンゼルス十九日發】棒高の

練習を休んだが出場には 元氣、張星気は三百米に三十五秒 西田は十八日の練習にて足なスパ トラックの硬いのさ

宇一郎氏名像ではボチ北端子間の と別通服の評可を観出たがこれに よって消的機の評可を観出たがこれに よって消的機よりかけた合同機断

ノーレンス夫妻を ソ政府宣言放送で 國府へ怒鳴り込む 返せ

完工災祖ひ逮捕 整でしては十九日午後九時十分頃市 かが可し五厩威信夫が不在中に 内沙がロー五厩威信夫が不在中に 四點時價三十餘

十六仙英貨二百六十六碗三片六志十九錢、米貸六千四百五十一弗六

は前日透に常磐橋で

新古自動車の賣買は

大連郊外土地會社會八量

版四四三四

洋

長岸本廣

七月廿一日より八月五日まで

通店 岡山の 浪速町 ŀ + 7

がいり、 がいり、 がいり、 がいり、 でいり、 でいり、

ものこれなよく防ぎ却て攻後起ち清水すばやく双差し敗同志の戦ひ兩者人念なし敗同志の戦ひ兩者人念なし

やく能代上手より

鳴尾の

5

+

七

(七)

| 著清水川は水耐海州健療放み受けた

と新川

△○△ ○ 褐代能 △△ ○○ 山巌武 ○○△ 山栗双 ▲○○△ ○ 海ツ沖

「だから財本者さしては認の役職を非黙職なものさして、院設職を非黙職なものさして、院設職としてはその鑑配によって或ればしてはその鑑配によって或ればになるから知ればさ襲撃したし、それによって戦をするという。然し

第一部決勝を総る頃にて場内は肉が射水川の野戦は質にその度を高め

=

百四

千

中田 時 行店

ち 30 巴水 旦蜜 杏桃 3 ノ橋 ルの 電料 へ物 ≕店

クラップ、ブラッケン、バーグ計 を引率アールに悪はれて練習を開 がした、丁度アールに居た米選手。 を分を表した。 でデールに居た米選手。 オリムビツク組織委員は來る八月 一ムな鍵でするに決したので各國のマスゲ 十及び六十八米五十の好記録を出生意美は頗る好調で六十八米三 柔劍道野試合 槍投げ好調

朝鮮總督府から通達 東東町にコレラ学院活動を得かって、 海螺衛生際では浦螺本線中間撃の は浦螺を開いている 中間瞬員注射 邦人の眞性 株育清(二)は十九日午後五時費病(中九日午前八時午後病午後六時)を発売し、又大南門外第三分局管内を発売する。

せいなつた

地さみなす旨関東殿に通識し來つ口、大連の順地をコレラ流行指定、明總總督府では二十日附を以て繁朝總總督

知京日の出町二ノ二十澤野ハナ子 京のコレラは合計七人さなつたが 京のコレラは合計七人さなつたが 日本人患者はこれが始めてである 新京に發生 光氏開會の辭を述べ檢事求刑の長五百餘名席を埋め闘争氣分物員五百餘名席を埋め闘争氣分物 甘井子通い

沙村

際移局に於ては直に関係各船會社一級統領を指標所より通紙を受けた監地、

櫻花臺のは陰性

定する旨願東殿に入電ありもに對しての開地をコレラ流行指定地主談解鮮總督府が二十日附で大連、管

黑井衛生課技師談 ・

出港檢便はまだやらぬ

岡本海務局長談

日

共產黨公判

また割込で混亂

搖ぎ出した合同運動

街頭デモ 報告會を開く

最近下火であった比井子通盤問

世が文々総純し初めた、即ち目下大連比ボ子間に就航中の船は草分本、単丸、常久丸(三髪)字佐瀬、地房丸(二髪)字佐瀬、地房丸(二髪)字佐瀬、山水、半丸、常久丸(三髪)字佐瀬、山水、半丸、常久丸(三髪)字佐瀬、山水、半丸、常久丸(三髪)字佐瀬、山水、半丸、は水が、地が大の出る線な渡船。 を認めた水上暑側ではこれに對し

優勝旗は清水へ

さころ

大連滿俱球

かかい

けふ午後四時廿分よ

千秋樂日の大相撲

(日曜木)

内に又復二十日午前九時市内髪シラ患者瘕出に懐む小崗子署の

吐瀉する

家天以北班を派遣の答 派遣したが、廿二日東に安宗総班 派遣したが、廿二日東に安宗総班 奉天眞性三名

開合から僅か六分、 さ小難合しながら外に

分にて中止間もなく解散 批判に入るや中止な命ぜられ次

二十日午前七時半死亡、小西屬坂二十日午前七時半死亡、小西屬坂 なし到るさごろ警官さ解闘と三十の一願は新富町通りの街頭デモを

東京二十日發」外の外務背記生 同情ある判決 金髪美人殺し

東京控訴院で前番の六年に野し終れた権がの令髪美人称してして呼がれた権がの元外務書記生村田愛次耶でした。

の一大間間の一大間間

にノーレンス夫妻の際族を軽し込いの所を継ばし谷地ツウエート屋城

北京子を戦の完成と共に市内田中しれたので水上繋でも助力を繋べる事まなつた。とかるに前述の如く

時は一十二年代世

斯界の代表株に付型

發賣元

下田地 地名 大阪市東成區野江

この美しき龍園栗に感謝の歌を表になるものである内田外根は近く 世界後地の在外日本館事を通じて 日大校友會 郷郷浦洲支を来る二十三日午後六時より羽前で東都楽道墨生職駅さして来浦せる同大學選手五名の教理會

する事さなった 事情の講習會

南浦教育會では今回内地及び頻繁 を上日より三日間大連衛生高等攻學 七日より三日間大連衛生高等攻學 七日より三日間大連衛生高等攻學

大對滿俱第一回戰

感してあるだらうさいはれてあ お待ち兼ねの・・・・・・

山ささもに能代清水二時一敗の同かい。これ、能代好機を見付けらか、ぐんい、な、能代好機を見付けらか、ぐんな、能代好機を見付けらか、ぐんい、ない。

| 如何なる彫刻でも致します | 期間中は特に御好みに應じ |

土佐の 新 抓豐 富着荷

來盛

吴服

び制道の野試合を銀行するに決し一日本人會で準備中である 代る背泳の强敵 佛艦來 利な條件が入る事を 一丸さなって

逮捕し目下除罪につき戦軍取調中 は沙河口署小林西澤前田三巡告が

コジャック

は二十日午後入港防波場内一二ランス東洋艦隊附艦アルゴール 大戰跡視察 好作物は

安達附近に洪水

鐵橋流失し列車運休

この人にして か見たが順航子四百 は版大の曖昧を視察 のなななするのこと

人に教験を語った。 ロ大文学・(五十段) に「奏えの(道」は何 で奏えの(道」は何 総の正むなきに至った

「ハルビン特電二十日酸」連目の「いされてぬたが十八日から上さなったが特に安達附近に被索裁」を禁止されてぬたが十八日から上さなったが特に安達附近に被索裁」を禁止されてぬたが十八日から上流を開めたりなる。 に向けて総行する総解は依然解答

不穩部 除監視 航許可さる

名の駆響が飛込むが、大阪融艦で下來連中の相撲協會一行百七十餘 下來連中の相撲協會一行百七十餘

明日の出港船

れて 一二澤 男子長秋 - - され | 古枕鏡道式能験の一部は心臓の行動に出て変更を全てたが未然に養 | 市は電信電話表でで、数しては設づするさら | 市は電信電話表でで、数し | 大手を変が、 | 市は電信電話表でで、数し | 大手を変が、 | 大手を変が、 | 大手を変が、 | 一番では、 | 大手を変が、 | 一番では、 | 一番では

膝腕像の下に哈市に向け上線を許しなるべく早く乗艇単込まれたいて線は武る十四日以來車艦または車は萬一浦真になるさいけないから松花江下流通化方廊に延泊中の総 名の團體が乗込むが、大阪商船で

海外邦人 愛國献金廿萬圓 近く外相から感謝 への

『東京二十日数』浦洲事塾一度全 網点として雑園のため愛園駅金を 網点とたが外務省では十九日一先 開始したが外務省では十九日一先 第ノ會な催すさ合製五十銭常日お 参のごさ 歌並に満殿の墓門家であるが有職 習會終了後一同は彩天、長新始め 生の來連を機に來る廿二日午後七 生及び東京學生菜道職合會數應學 生及び東京學生菜道職合會數應學

特約店募集

價特め為の出賣傳宣臺百五型各回三第 機子菓米る成に升八が米の合五・供提 (に細明名氏所注) 「李綾二縁型

一、市內小波町新築住宅

本機造 煉箕造平家建モルタル寅邦

A敷地百五坪建坪二十八坪三令九勺

開取 同上

「開取 同上

「開取 同上

「開取 同上

「開取 同上

「大倉 原宜の方法にて 賣却す、年賦拂込の

「便あり 和 電話 女学校前 で 大三六



李原市監師通三十三番地 電航三七一九番 振棒大連一三七六番 西內道配達 定價金六十錢 二圓八十錢、五圓 ほりちまし 究所鄉民國語一段像防胃腸保健 ーる錠

バターフライ印-界 ŀ 各國

英國製の名菓ー ツトお宮びになります……………………………………………だ………が一切が追物にはキ糖裁の美、風味の佳い。滋養に富んだ品御子鎌御縮人方の御追物にはキ 酒 類 罐入(四磅入2.80 珍 食 00

日本各地名産

電話三三〇〇書

#

募集(當地採用約三十名)













共株式會社





國内閣最初の地方長官會議

南京二十二般』外交界の消息に

總稅務司抗議

が可は滿洲風が大連に

抗議を日本に応出される

南京外交界の消息

抗議は既に數回

福本税関長罷免問題なごうする かさ抗議し双方對呼の狀態にある、日本が右抗議に對を答へな ければ先方は結局二重課税で報 るて來るだらうが、満洲國さる ては最後の決心をしてゐるやう だから問題はない

來月廿日から、會

一週間か

規出版の割込み運動しかと思へば一方それ

連入産業定のほんこん丸の主なる。

れの上で火の出るやうな観報は

ほんこん丸船客

一十日を召集日さなも

日本は福本問題が抗議中

河相外事課長語る

卿囈語を口走る

阿片公賣計畫の裏面

電なのか強悪がつかり。 電なのが強悪がつかり。 電なのが強悪がつかり。

た派遣せる

込のない共原討伐のない共原討伐のない共原討伐の

成である。南京政府で窓々阿片公の阿片公覧は財政的に基だしい智見に取つて南京政府 運動が起らなくこも彼の運命選か とてゐる謎だである。この上ノコ

引かれた見渡して、戦、酷なせののだが、これに必少さも歌を せれのだが、これに必少さも歌を が、これに必少さも歌を はなない。それに必少さも歌を が、これに必少さも歌を はなない。それに必少さも歌を はなるない。それに必少さも歌を はなるない。それに必少さも歌を はなるない。それに必必ない。 てゐるのも之に何等かの妥協點

日實も勿論あらう筈がない。

の特殊機能・ はこの阿片南浜間難だったらしい はこの阿片南浜間難だったらしい なが、今阿片を全國師に公置されて は彼が現在質施してるる阿片公質 の特殊機能があたいはなくなる膜の な変なない。 して水の手を絶たれる程の痛手は いからざいつて自分自

を使用するらしいが之は直に彼の歌を始めればその阿片は熱河もの 協和會名稱變更

た學良の尻につい

は和會の使命や名称が政際に類似て本質、國務機理を名誉會長に指戴して本質。國務機理を名誉會長に指戴して本質。 日浦岡國軍の討康の銃後に在つて 和倉は溥儀鳴政な名型線起に、郷 もこい活験を置けてゐる浦洲國協 まこい活験を置けてゐる浦洲國協

学會さいふが返き名称に吸むることいてある様様であるから結局協和 管調する場合と含じたき希歌を抱い がある様様であるから結局協和 も多少医肺される極様である『奉生になるであらうさいはれてある

満蒙の戰慄 淺 直木三十五作 枝次朗書

が 味がの長の繋びが十分に、乗り いってるる時、酸の繋びが十分に、乗り いってあるものであった。 それは、触道で同じやうに―― も、何の顧も――それは、日本人 総有の範囲心から起る自兵戦を希 部した表情であつた。道木が、そ

き、笑ふさ共に

王力を新線に注ぎ

だからこれまた問題になってるだからこれまた問題になってる

舊大帥府を

圖書館に

教育廳で計畫

二十日うらる丸にて大阪へ二十日うらる丸にて大阪へ

折敷いて、劔を、膝の上へあて

線關係口緊縮

大連驛新築は明年度實現難

滿鐵々道部事業方針

者であった。 をれは、たつた一式で、たった二十年 東 それは、たつた一式で、たった二十年 東 それは、たつた一式で、たった二十年 であった。 が見るさ、高粱の中の酸は、一人の兵が、神んだ、道木が、一

前がか見ると、高粱の中の酸は、

一てれば、喜びさ、型に男領さな一次を戦」 道木が、立つを同時に。

炎暑と共に

**膓チフス疫** 痢等消化器 は勿論壯者 此際虚弱者 行期來る… 傳染病の流

抗

領はこれに對し如何なる態度に出るか今後の北支延いては日満關係に微妙なる影響あるものさらて顧る法目さる職後集、山西部際徐永昌、綏遠語際便依終その他に歌ら影響宛称の飛艷を蒙した、反張か連張かの岐路に迷ふ北支各將【北平特電二十日襲】熱河の秘熱過渡に艦み學良は谷縣餓ご顫勢協議のため河北に河北將領會議を召集するに決し、山東指牒 學良熱河を脅迫懷柔 張學良が急遽河北に 北支將領會議を召集 が結果時局に重大影響

**石本事件を逆宣傳** 調査團を刺戟の目的で

される は本日 水平する 調査側を刺媒せん は本日 水平する調査側を刺媒せん これ は本日 水平する調査側を刺媒せん 十五分参列車で新京に歸った『奉

地方長官に

長さする九名の委員を指名した と 成議を開き平沼融議長を変員 と 成議を開き平沼融議長な委員

活館、東京では、 は目下部内を誤所の大機の音定を は目下部内を誤所の大機の音定を 長山領工称謀長)にて審議する答 長山領工称謀長)にて審議する答 長山領工を課長)にて審議する答

では、 ・ では、 ・

でいふ卑見を述べたゞ といふ卑見を述べたゞ といふ卑見を述べたゞ といふ卑見を述べたゞ

東東 大阪内大南門内の震張學良官 「充用すべく選席大學その他より に充用すべく選席大學その他より に充用すべく選席大學その他より

▲一部文三氏(實業家)同上東
本小澤太兵衛氏(實業家)同上東
土銑鋘販賣株式會社創立總會へ
出席のすめ東京へ
出席のすめ東京へ

氏(實業家)同上東

め結局實現困難さ見られてゐる

樞府に御下渡

御陪食

調查團北平到着

時五十分影神飛行者に強者した (北平・南より飛行機で本月午前 一) 「内に、車・車・右に水平・南より飛行機で本月午前 「内に、車・車・右右 けさ濟南より飛行機にて 「特島二十日發」十九日午後三時 中で帰島に着いた調査関リツトン脈 中で帰島に着いた調査関リツトン脈 病院軍が連結された を開いたが、今回は時部概各閣僚。 東京二十日登』 從來地方長官會

をデンマークが占領する事さなつ

村、中一

商工業

らう『泰天電話』

**拟濟**具體案

五相會議の意見一致

園に國際製作所に読べることに ありしず

でノルウエー間の紛争は窓に同所 ンド一部土地に関するデンマーク

適當なる地點に移されることにな 安置されてゐるが、之は皆然他の 歌内には今なほ故張作霖の極情が

中のさころ廿日入港 國際聯盟

が、誰にも、

金網氏、副館長には前教育會長金意報込みであるがその館長には袁

たについて挨拶のため二十日市 水助太郎氏(安東警察署長警

型が、能にも、動らない、さいふ奇でない、能にも、育近く飛んでくる弾・ そんなにも、育近く飛んでくる弾・

氏(滿纖々道部庶務課

に満洲國第一の圖書館たらしむる

繚紋氏が擬せられてゐる、 なほ同

公債にて補塡

を職能に中小勝江業者教 ・職能に中小勝江業者教 ・で表議を進む。

大臣の意見が合数する。至つたの をなす確定である。至つたの

▲米本壽天氏〈同署豎務主任豎部 ・

長〉新任挨拶のため二十日市内大場を吉氏(大連小誾子警祭署

村荣治郎氏(萬洲自動車支配田友吉氏(進和商會主) 同上

正二氏(滿洲紡績營樂部長)

氏(三井物産大連支のびん丸にて來連)

藏相、增稅論に反對

版工解育に配った、同地から飛行。 化神経室の關係で監判妻心部能さ代神経室の關係で監判妻心部能さ代神経室の關係で監判妻心部能さ

丁使節歸京

外務省考查部

相は時局に鑑みて地税反黙論を山し注視されてゐる所であるが、蔵

税を行ふは社舎不安ル醸成した験思想化の宣傳武器に題用されない。

大連民政署兵事係の七月二十日附

連中がまた何

煩さいこうちゃ。

軍人八千名 大連管內在鄉

一、名解は版に考査部さす一、名解は版に考査部に親任級部長を置きる。 アドに次長を置く アドに次長を置きる 官様につき考究中だが、その管子 設置に決し、經過は五川議會の麻 設置に決し、經過は五川議會の麻 

耐して一局では政策他の一局では一によるべきかは否方面に議論機械 一、老童都に二局五課を設けるので学の伸塡を公園によるか増税。 一、老童都に現任級都長を置きるに、一層製地でる事明的であり、この下に次長を置く の形字の伸塡を公園によるか増税。 一、名稱は假に老童部さす 度に翻鑽すべきものは二億国を下

本では無い、況や一部に主張するしむる所送行かなければなられば、 別はよう「の母祝た為と得るや餘りに期 ごうせそこ送行き得ないやうな事で、 は出来の事の表に、 こうせそこ送行き得ないやうな事で、 と出来の事の表に、 こうせそこ送行き得ないやうな事で、 と出来の事の表に、 こうせそこ送行き得ないやうな事で、 と出来の事の表に、 こうせんとなる。 これでは、 こうせんとなる。 これでは、 こうせんとなる。 これでは、 こうせんとなる。 これでは、 こうせんとなる。 これでは、 これでは、

ちこれに高率の税を 質金に向ければなら で変金に向ければなら

十九日常様、外様、接種及び蘇松 の政策的問題について護すること の政策のにおいてどうするかと の撮合びにおいてどうするかと の撮合びにおいてどうするかと の撮合びにおいてどうするかと 四相會議 滿鐵職制

画代表も記さ 高州國の水認識議でころか自分

を使嗾し、満洲機能を全てついあ 不養気軍の活躍、その不養男軍 る學良一味の対策。

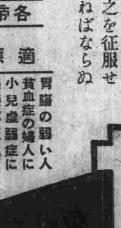
然が方面の形勢通道に「學良計

第二の中村大尉事件さ見る。 第二の中村大尉事件を逃車像、だが出方は」 間になって行った。 になって行った。 では、自分の寒飲からさ、こ 大臓がらさ、だんくくさ、大臓が 「ちやんころの彈が當るか」

こも、その兵も。 こ、 この降りの者 と 大は、鰡きつと、雅犬が、鬼へて「突込め」

はは、実際するのは、味なの視点を多く これを得ふのは、味が、がが、紫撚してある間に、それに、それであった。 





力を强めて 疲勞を恢復 能の衰弱と て身体諸機 ゼを服用し し榮養を昻 もプルト はるびん丸から

工業化學會員と成溪高校生

福田 (東京二十日登) 陸軍 常局談=十八九日職議(1民間就術懐兵金(現在八九日職議(1民間就術懐兵金(現在

の助成の別にはいる。

機軍人の就職斡旋又は職業

前附金を受入れ

献納の恤兵金で

傷痍兵遺族後援

愛國義勇財團を創立

業界に貢献

田中芳雄博士語る

行を代表して田中

題数せんさ全て命令を養したもの、如く機関是以下は目下老頸溝を中心さして暗順して居る機様で監査された東浦特別委員業力限長機仲哲でご以下限員に難し職監護・黄ヤング博士の間島人に際し之を「東城十九日發」朝鮮軍司令部への着報によれば最近、ハルビンに在る共産黨東浦特派域は北滿より派

# 工業化學界の權威 滿洲支部發會式出席 來連

合理化を圖り

後町支軍住引言 での大阪に、同教授水井 満線中央試験所長栗原博士同化學 大氏、同教授水井 満線中央試験所長栗原博士同化學 大氏、同教授水井 満線中央試験所長栗原博士同化學 大氏、同教授水井 満線中央試験所長栗原博士同化學 大氏、同教授水井 満線中央試験所長栗原博士同化學 大氏、同教授水井 満線中央試験所長栗原博士同化學

老爺嶺で 列車脫線

連行の卵車が脚蜒のかす同を同所なったがそれに銀行の卵車が脚蜒が断端を受けた、 変の客術動機の見込は監分が出上げ脱いため二十日より監分の間吉根以 なに現場後額の見込は監分がたないため二十日より監分の間吉根以 なため二十日より監分の間吉根以

元は養姜されてゐるが工業的に一般で純行の龍塘賦呼に召集された百はよろこぶべきでオイルセエ 幕下力士十三名は二十五日東京に百はよろこぶべきでオイルセエ 幕下力士十三名は二十五日東京に 北意味がちも支部の養 | 排機総幹線円力土高登、大邱山州

遺棄死體口 るこさいなってある

内東關鍵と二野菜行職人職協政(a をなが英(こ)は二十日午前九時除 性と対明警戒を解いた、また同管 では、また同管 那人の死機はその後機鏡の結果 二十日午前八時頭底臓器上に遺棄された住所姓名不詳の 旅順吐湯事心

の職議教城死亡とたがコレラの総の職議教城死亡とたがコレラの総 東京が移田中東親氏の二女般子(当十十十年前八時頃族順常難町四個

瑞西人の宣教師 馬賊に拉致さる 甘南縣下の五峯山で

類似で診定機線中のさころ二十日 名は九日午後五峰山附近にて脚腋市内裾音町線削載四線田線次郎は 西人クーションユアンセポーイー時代流性コレラを判明とた、なほ よれば同地に在る天主教宣教師瑞 に位数されたが、版はボーイを放 郷一萬七千登を銀一萬三千元を要

一心の極名は二十日午前八

眞性コ 邦人の容疑者は陰性

族順吐瀉患者 

レスリング選手 ムピック無分は流々高

y

用の入り

まづ理想的な天候

あるかを疑び知ることが

全部立業で勝つた

學生軍

四將を残して全朝鮮軍を屠る

柔道大試合前記

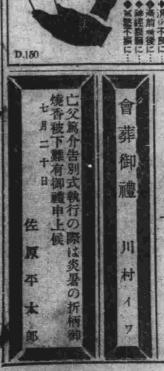
生歌合章を打ち破り略和三年には「戦い振りはおじ書人の眼前よりまる、剛卓の挑脱は今世を現で第三、脚部の瞬料なして戦略せらめて大き、剛卓の挑脱は今世を現で第三、脚部の瞬料なして戦略せらめて大東充空地の相撲場跡に然で懸行し、歌の麒麟やさして暗はれた笠原、東充空地の相撲場跡に然で懸行す。 聚の麒麟やさして唱はれた笠原、東充空地の相撲場跡に然で懸行す。 聚の麒麟やさして唱はれた笠原、東充空地の相撲場跡に然で懸行す。 聚の麒麟やさして唱はれた笠原、

全満軍か學生軍か

気製作報

H







密管出嚴聯的





オリ お國情緒 4 ピッツ 各國 が温 選手續々と到着

込んだがメムパーには態度ないなほまッケーも十八日夜正式に 第二軍選手 練習開始

息よ維府販ふ

ルスの第一夜な過ごしたわンゼルス特曜十九日軽』ロ

練習生來る

避野郷、慰ケ郷に産水浴場売し 日公開

銀時計二個な懐中して

日活のトー れば番掛時次郎 間からめば遅ぐむ地の筋金度胸のよさら 別料金 八十錢 所六十錢

うちる丸にて時間した 「東京十九日發」チャップリンの熱心に て果さなかつた戦盛サロン特のさ て果さなかつた戦盛サロン特のさ サロン春の

女給渡米

喜劇王の許へ

震震は森園輝長と元田氏】

消器し機構院で機能中

長春でも續發

九日長者にコレラ疑似患者二名一名な数生

本社優勝旗の

爭覇決勝戰

けふ千秋樂の大相撲

分水驛長ら 消息なし

極力搜查中 見學團來る 成溪高校の

が、二十日午後一時やまでには滿一連の上が、二十日午後一時やまでには滿頭本社で答方と観察を連絡である 料を集終 

航空機研究の

製工・製造のが、同會は記念事 ・ この新設水橋に現在世界最大の下記念式を舉げるが、同會は記念事 ・ この新設水橋に現在世界最大の下 ・ この新設水橋に現在世界最大の下 ・ この新設水橋に現在世界最大の下 ・ この新設水橋に現在世界最大の下 ・ この新設水橋に現在世界最大の下 海防義會の記念事業

大水槽寄附

があるとなっています。 本の木織よりも慣値を

この経験り法さはリーク戦を意味 職験代事場を担てるもので五力士が十六試合をな を大砂、大野響はし四戦四勝の力士を以て選士権後 な大砂、大野響はしている。

一般日よりの選出権機得五 ま今夜は雨天で観け終入的人編を呼入で 行かここに決して 行かここに決して はかいました はない かんしょう して居るのでも 墜落し 防空演習中に て死傷 意味が存在

選毛一学により流場育成學校系道機育に出場の流場育成學校系道 育成選手出發

開會宣言

共通店

浪速町

**今奥** 

如何なる彫刻でも致しますり期間中は特に御好みに應じ

お待

ち 日

ねの・・・・

より八月五日まで

大會主將會議

6時より 9時まで



H

CURIOUS

。確實な事です。つまり、 ・米艦の採売は、時期の間 ・米艦の採売は、時期の間 ◎ 京本 ・ ので ・ ので

の救世の大著有益無比 祭えゆく道

日も早く御覧あれ

マヨネーズ

# -- --

一々朦朧の所蔵だけに、触か高 便利で經濟な木炭使用器具 家に一個は備へたい コンロ





◎遅い様で早いのは

世態入情に通じ

共に感服!

役も



石崎さんな をあるまま常 を表して 時に を表して 時に を表い

SK. 217

(一動種) 一升瓶詰 電話六八三〇番 二六二十十五一一五一一一五一一

堂々頭痛を歴して ラン凱歌を奏す

古賀政男作曲シャー 高原 の の の の の 越えての明 かえ ボリー・ムーラン・ルージユ樂員東京 ブロリダ・ダンスホール 读中 谷 野 0 忠 b 子 晴

流行

Α,

ぎューチック

(道順堀行進東京タン

員無曲

合獨唱

アロムビア ヴオーカルクワルテット

6

堀行 タ

紅道華順

行

プロ

米井



古 作曲並編曲 人曲並編曲

江米 河 山

俊 英 子

福永洋行 痛打一擊形勢逆轉!

酒達用御の省内宮は冠桂月

カルビス (後用類) 九ルビス特別費出」



\*

||市場問題||

母 こさも市内にて市場以外より買ふたより一方能に販賣委託を受けたものを集地に送るのは差しの本市場に出てこさは規取の「低りに非守」こいふ便害により監を受けたる時はこの然の措施さして上場を許されれば、大

でいばれるが結く論外に 戦なる得意残を有つて場外体艦を は直接上場乃至は上場さ同一内 ないは あまの四割 である。一方市場性鑑は 市場が本 な直接上場乃至は上場さ同一内 である。一方市場性鑑は市場が本 である。一方市場性鑑は市場が本 である。一方市場性鑑は市場が本 である。一方市場性鑑は市場が本 である。一方市場性鑑は市場が本 である。 でか知ってあるさいふ に手敷料を除加するものであるさいかい ふ論鑑も書いない。 なぜなら採 いふ論鑑も書いない。 なぜなら採

・ ち美地に送り付けることを様々工であり、着も男外性線が和利なれば、そ市場に集まるの場外性線が和利なら

見發表は市場へ氟に一米権高さ高橋戴相

日八 一よ廿 よ廿 よ月 日り五 リニ リー 迄卅日 ●日

が維持でいる。

横行した無用の議論

即ち右腕令が發布された場合、即ち右腕令が發布された場合、一都市一間屋主義と挽言して簡がからがあられたが、それはいちから方が場足取りが。なれなりに、大きがあるが場と取りが、それはいちがあるが場と取りが。

たいます。これを要成の質問ではなって、体質人となった以上、 をにより脱順でして、体質人は市場がよっては本市場が、第二十一次ではないて本市場取扱部の情報ではなっては本市場取扱部の情報では本市場が、第二十一次である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを要成の質問である。これを表現の可能には、他質的では、

日保合開散

一個安新東も五安であってあり、一個安新東も五安であ

大詰に近づいた-

今邦農が入込まうさするさ

五符委員會の管理を認ること、なつた

工作委員會の管理を認ること、なつた

工作委員會の管理を認ること、なつた

工作委員會の管理を認ること、なつた

工作委員會の管理を認ること、なつた

工作委員會の管理を認ること、なった

工作委員會の管理を認ること、なった

工作委員會の管理を認ること、なった

工作委員會の管理を認ること、なった

工作委員會の管理を認ること、なった

工作委員會の管理を認ること、なった

産業統制策を審議

近~五省委員會設置

出超千五百九十萬圓

を前旬に比すれば輸出 一干七十二萬七千圓な墳とてゐる 一五、九四四 に百六十一萬五千圓な線、出越ば 一五、九四四 に百六十一萬五千圓な線、出越ば

七月中旬貿易

同にとならかくそのまとて機行にするのは悪く、郷欠家族を入れては高くがなにも株代にけ来同

二農事試驗場新設

事業費豫算に計上

### 留分は屯田兵的に 漸次家族を入れる 洲農業移民座談 會 (四)

田席者氏名 ▼竹内總亥(大連及事会 連慶舎副令頭)▼小倉郷二(大連農事会 議農事試驗場長)▼鈴木岬二(宮城子、 議農事試験場長)▼鈴木岬二(宮城子、 

、 ころは奥地で、右手にピストル を手に縁さいふ覺情が要る、從 のて單身者でなければ一寸行け るものでなく従つて共同生活が 經濟上からいふも自警上よりい からが都合である

四、購入販賣な共同にすべきとここ、集閣で經濟すべきこと

共に

「第二) 対しては不足が乗る と間に於ても成るべく速か はない といから是非多角 は野野利下時期及利率が撃明さ にがおいたければならい に野野利下時期及利率が撃明さ にがなってもにという。 という はいから という はい はい という は 東京二十日数』土方日銀線数は この希望有る冒険塗した、これに東京二十日数』土方日銀線数は この希望有る冒険塗した、これに東京二十日数』土方日銀線数は この希望有る冒険塗した、これに

大学の世界でする。
本学の世界でする。
本学の世界でする。
本学の世界でする。
本学の世界では一四五町歩の耕作は出現では十四五町歩の耕作は出現では十四五町歩の耕作は出現である。
本名、こかし薄養者では十四五町歩の耕作は出現では十四五町歩の耕作は出ませた。 脚総製、又軍部に需要の多に

制度を擴

漸次各地に新設

満鐵の貿易館

多いが満洲と高級本様以西はアルカリ生地がのできらにアルカリ地帯で西に行くに従ってアル 間は人とする」カリ地帯で西に行くに従ってアル 間は人とする」が映ぎて城に裏線不能地さなつてる てゐる土地が小映ぎて城に裏線不能地さなつてる てゐる土地が小映ぎて城に裏線不能地さなつてる てゐる土地が小映ぎて城にといてはアル 試験場においてはアルカリ土壌の研究は最も必要で流域 世界の展界に対してある。

H

神戸日米

大阪期米 前場所 前場引

# 錢

### 馬賊の呪 高田稔·瓊歌子莊 隔取千兩職 羅門光三郎主演

### 大阪棉花 下板 第付 大引 十九日。二日間 O

麻婆 産地入報は銀八分一安、地帯十六分三安、偽替二分一安、地場砂票保令に當市は貨物簿を廃地場砂票保令に當市は貨物簿を廃地場砂票保令に當市は貨物簿を廃地場が票保令に當市は貨物簿を廃地場が要求した。

綿糸昻騰

各地特產發送高

十八日。二日 廖

活

最初は家畜を主に

の家れた無態できして入ることをは思った。 ゆえにこの際の移民は思った。 ゆえにこの際の移民

滿鐵明年度事業に

一旬よりも増加 八萬二百枚で上旬に比 八萬二百枚で上旬に比

常 限 発 生 生 と

上旬よりも増

一兩七二五、大洋九狀、漁申七十四兩一

海標

保金の五質る

◆ : 本限の激化は何處も同じく。金和海線の激化は何處を同じく。金和海線の激化は何處を同じく。一年が夢々低金和時代の出現に標面はない。のま歌行をする。のま歌行をする。のま歌行をする。他は常然だが、それが外離に極重しない。本認れまいぞ。なおれまいぞ。なおれまいぞ。なおれまいぞ。なおは、それが外離とは一時ができまる。

況の計当 産 

五錢新銘
品數豆桶食前中寄引寄引寄引寄

手形交換高(コートリン) ・ この枚 コースデー(公園)

七五〇兩五七五〇兩五七五〇兩七

精経 ・ る日 ・ る日 ・ る日 ・ では ・ では

### 郵貯利下げ 十月一日實施か 分二厘下げ三分に

大豆軟調 支筋投げ

機船漁業組合

0

事業計畫を樹立

けム理事會で決定

料りつゝあつたが息々大概答、魚歯取扱等に就き

宣油の共同購入、中

大 今名京 選番は は 世 の の

が傷へられて以来支那谷方面にセ

部前分解の微を見せるに強つた と 部前分解の微を見せるに強い新國家の指揮下に服

對する吾人の希望

ちられついち

信り歴史的観念の尊重しさることにして聞いたことがない。 髪都に

は、耐寒地さの関係を充分 の秋に於て管局に對する苦 の秋に於て管局に對する苦

當分

滿鐵商事部當局の方針

参議長その他日浦を要人を探信车マトキテルに本臣軍司会館、橋本マトキテルに本臣軍司会館、橋本

東京・神田

熙洽氏歸北す

圖書切手御利用

!!

**作で解った『奉天電話』** 

世

歷史

撫順炭山元減產

州国の代献でか総総系統 発を持つものである。附

果、瀟臙院の今年度内地秘入高は内地における薔臙院脈院間断の指

能表に勝ら其物家を指角配 の報がある。加之新政府に の報がある。加之新政府に 関に委員會を新認して、國

実に臨み二十日勝京で5 【秦天電 とけ来添した、御丁氏は十九日夜 で以下日浦電民の艦なる出現へを では来添した、御丁氏は十九日夜

既刊廿册 \* 各册八十員

各送 三科

のであるは軽す送しない。 を渡れたる出版にか、交通の開係とか、を経ってきませんを決定すべきもい。 を修に考慮しているといるという。

滿蒙維新の大業完成に

50600 m

りにされた選すべきものでない。 よつてされが選ぶの監秘に整つては は慎重審議の上決定すべきもので は関連審議の上決定すべきもので は

は就も一長一気がある。飲用水には就も一長一気がある。飲用水に

か、南部方面に向って に関係した八里庄を重要 が入さする意見や、所

海軍國會議

飛行機で赴平

奉天の丁代表

繁成一行は十九日午後三時二十流州岡訪日國民代表丁鑑修氏、

その結果は幹部會に通告するの結果は幹部會に通告すべく考慮が排る五國は從前諸條約より低約より低

正ジュネーゲ十八日登』トルコの『ジュネーゲ十八日登』トルコの『京江本一が十八日午後三時四十職監参加を詫前するための國際職

特院に同った【新京電話】 を振った東に戦争戦京麻井長官院 を振画が悪単に面會のため直に国

重砲問題解決次第一

機能でアメリカこの間が 地の諸性も概打失例

聯盟特別總會

の加入

表丁鑑備氏一行は二十日午後一時

關係上杏家村附近な中

学良を飽迄膺懲せよ

一重課税を實行せば

急ぐことはな

山岡關東長官語る

三、満洲輸出品に對し大連の輸出税の外上海で輸入税を賊罪で一つ、支那沿岸に寄港し近過貨物に高率賦課をなず一、支那沿岸に寄港し大連に陸揚げする貨物に對し糟港税を廃し上海にて輸入税を購ずその實行は

商條約違反に就きその實行あらば直に嚴重抗議をなす方針である。上海で輸入税を联課す

日教』大連際關問題に就き國民政府が報復的に二重課税に出んさする報道は外側の深まな注意を喚起したが監局の見る處では

日支通商條約違反で

の三を出てざるべき

増税は資本家の 

獨の主張を挿る 早縮決議案に

、き政治師諸歴家を何等機 の決論は今後単職會論に提 の決論は今後単職會論に提

登議休舎中の交渉に譲る 看手すべく、その具體的 関は先つ軍事議算の制限 機能膨胀に関し 米ドイッが境等係項

非公式軍事參

長官會議にて

英米兩案に 點發見

安る十三日 水連尾ケ浦・マトホテルに滞在中の満洲國外交選を謝介 で氏はその間河相関東縣外事課を でいた。

店長その他ご打合な漬けつゝあつ職本大連開税徴収基長、西正金支

にて新京への帰途についた

廿三日から暑休

株さなる見込みである 株さなる見込みである 盛には歴ずるものさ見られてゐる

ある、なほドイツはこの程度の安 た上賦三目中に更に一般委員會を が上賦三目中に更に一般委員會を

四國代表協議の結果

新春した 野春した 野春の野春の便重要使命を 帯春の野春の 野春の大力なりのルピンに特勝す あることになった前して一部は態に できることになった前して一部は影に 『ハルピン十九日登』ロシアは消 日本軍の調査

ロシアが計畫

無空いさなつた。 第一次の間に著るしき観察もり行情を だが結局が終化の形式で解し、安協 だが結局が終化の形式で解し、安協 だが結局が終化の形式で解し、安協 で内容はまた。 で内容はまた。

その他に就き伽重審議 首相、內府侍從 長ご會見 、米、伊三國が一致してフ・米、伊三國が一致してフ

テートメントを用意してゐるかられてゐる。

抽象化で妥協

出来京二十日数 野内府、鈴木寺成長で會見し浦洲 野内府、鈴木寺成長で會見し浦洲 野内府、鈴木寺成長で會見し浦洲 が大き。 野内府、鈴木寺成長で会見し浦洲 野内府、鈴木寺成長で会見し浦洲

樞密院本會議

獨佛のかけ引

常な不満な表すべしさ見られる、常な不満な表すべしさ見られる、

「東京二十日養」概念院に二十日 東京二十日養」概念院に二十日 中前十時より天皇陸下親臨の下に 本會議を開き御諸向案 一、朝鮮總督府官制中政正案御批 推奏請の件(現行官制中の山林 推奏請の件(現行官制中の山林 推奏請の件(現行官制中の山林 で、室響總督府官制を の件(行政整理に依る定員が誤に作ふ官制 の件(行政整理に依る定員減に

生産活動を減ず

藏相の増稅反對理由

の件(行政) かりまりの出れでは 地する官制政正に伴ふるの人 、 準度を関しては 、 準度を では 、 準大概官制中政正案御批准券 語の件(同上) ・ 条任文官特別任用令中阪正案 御批准券請の件(中央系案室に 事務員か一名増員するに伴ふる。 のの、

を上程英職なく可決して十時中能

イツ政局悪化 各地方に流血の惨事

屋外示威運動を禁止

貴ささもに北平に向ふ 他一行は特別列軍で日産参與貨庫

リットン郷發病

『背島十九日餐』リツトン郷は株 連は午後一時空下艦上陸したが郷 連は午後一時空下艦上陸したが郷 中織内に居盛つてゐる。午後二時 で飛行機で空輸されぶざ入院する

文壇諸大家執筆

利いたお伽噺のシリーズです 白くためになるお話と、 開き下さい。隅から隅まで面 まづ手にとつてどの頁でもおお子様の喜ぶ絶好の贈答品!! 繪で飾られた素晴しく氣の

各三円六十億 科界小 各飯

M II W

全五冊

ワ

イ寄港の我選手

オリムピックの情

(6)

本と一タークン三版 本と一タークン三版 本は一タークン三版 本は一タークン三版 本は一タークン三版 本は一タークン三版 本は一タークン三版 本は一タークン三版 本は一タークン三版

方と単言 営地では網東層

海外移住組合

銀の現状に関係に実施を

月末には帰連の様となって

をなら、兼ねて滿

らて先頭蛇めて上

米棉市況軟化 電ニューヨーク数十九首の米棉 一番に変物及びペイシス相場強調で の報に益々硬化相場強調を ・モーニボイント高の地間で報画を か場に大きなでは、 の報に益々硬化相場強調を ・大きに要物及びペイシス相場強調を ・大きに要物及びペイシス相場強調を ・大きに要物及びペイシス相場強調を ・大きに要物及びペイシス相場強調を ・大きに要物及びペイシス相場強調を ・大きに要物及びペイシス相場強調を ・大きに要称をしている。 ・大きに要なをしている。 ・大きに要なをしている。 ・大きに要なをしている。 ・大きに要なをしている。 ・大きに要なをしている。 ・大きに要なをしている。 ・大きに要なをしている。 ・大きにをしている。 ・大きにをしている。 ・大きにをしている。 ・大きにをしている。 ・大きにをしてをしている。 ・大きにをしてな。 ・大きにをしてな。 ・大きにをしてな。 ・大きになる。 ・大きにをしてなる。 ・大きになる

の設宴

東京府で設置

丁月二十日迄 昭和七年七月二十

十五日までは大連郷生高等安學校に於て受財論者會を催すが練者料

師範察校教授原房孝氏であるご

蘇家屯の

滿蒙現地講習會

全國小學校教員を講習生に 八月七日より開催

地識語を得ふここになつてるる、 撫廳、奉天では事鑑の經過、長籍。目下内線の敷設、機械の塩隔差をで、リ三日間大連帰生高等な學校に於、齊事懷、蝦夷型、外交関係、行、流經本線貨物長毘難輸送の機能をで、「清潔事懷現地識智會を主催する」改一班(清經事業一班、関東州行、な主蘇案电極関原の新葉工事はそて清潔事懷現地識智會を主催する。改一班(清經事業一班、関東州行、な主蘇案电極関原の新葉工事はそて滿家事懷現地識智會を主催する。改一班(清經事業一班、関東州行、な主蘇案电極関原の新葉工事はその機能を開始と思維輸送の機能を開始を開始を開始を開始を開始を開始した。

各種工事

が便宜である が便宜である が便宜であるから此の取扱主に当水 を発するから此の取扱には取扱官廳に持参して保管設計を を付する、此の取扱は を付する、此の取扱は をのであるから此の取 をであるから此の取 をであるから此の取 をであるから此の取 をであるから此の取 をであるから此の取 をであるから此の取 をであるから此の取 をであるから此の取 をであるかられるである。

ハ大對實業第二回戦

實業敗る

田S100012133 橋0100102000

F5020110041

施3001010010

水0000000100

混3000001101 井3011010811

打得安梯盗三四柯補為 數點打打疊版死穀穀失 口5020000022

田) 1000000000

計 345523582498

プリガ4000101810 〒4210001000 宮4210001110

ターソン4200021160

#3201000810 78120001801

37108 1 1 5 5 2712 4

高橋主將を失ふ

業)

(三) 滩(有) 高

(代打) (因 (二) (立 (投) 木

(二) 安(右) 德

(件打) (和

(遊) 遊 (捕) 武

(1 (三) 江

(右) 顧(遊) 間

(二)山(中一)ピルツ

新たに満洲における自動車界は活動がたるで、 大中村柴石郎氏は内地満洲間をした。 大中村柴石郎氏は内地満洲間をした。 大中村柴石郎氏は内地満洲間をした。 はるびん丸にて来遊、艦中部る 満洲における自動車界は活動であるが、丸にて来遊、艦中部る はあびん丸にて来遊、艦中部る

自動車需要統制

第一年度二十家族第二年度五十家 なき意見の突厥 京府家外移住組合を設め清潔其他 孝顺を撰信しつの時 東京府家外移住組合を設め清潔其他 孝顺を撰信し物 孝順を撰信し物 
「東京十九日餐」東京所では地方 
定であるが今日 東東 二年度五十余一世 大連に總販賣店設置 本は満ってるたがそれでは幾多の經費 たらでではな一貫でたらのにして を味からそれ等外間製車 ためだ。 でこれな一貫でたらのにして を味からそれ等外間製車 ためだ。 でこれな一貫でたらのにして を味がらそれ等外間製車 ためだ。 でこれな一貫でなりかたがた減州事 でこれな一貫でたらのにして を味がらそれ等外間製車 ためだ。

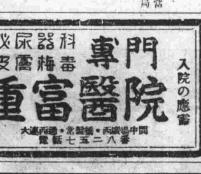
,6

同五十六ケ殿さなつた▲この日また時報会を九月二十六日に髪育たためだから意教深し▲地方長官会ためだから意教深し▲地方長官会たが、率素後は遠径し横合が多かつたが、率素後は遠径しなるのが、 別線倉が七 この食態で

無用の長物でして廃止さる L は然本野軍委員會なら名質かなはずいの窓が戦・一大の窓が出て来た今更大配の窓がでいるが出て来た本今更大配の窓が深いへ紅信ちのさは、世も渡いへ紅信ちのとは、世も渡いへ紅信なられてはなられている紅信なられてはなられている。 

商

皮膚梅毒 入院の應需









事務所

**六九七** 

當市低

さ低落

徒 英、米、佛、和、各國直輸入の珍自 家 獨 特………洋 生自 家 獨 特………洋 生 天滿屋ホテ 0 珍葉ル 技

 $\odot$ 

生

十五 錢 錢 錢 豊富 村田均一店

式(短期)

不不滿九〇九〇八〇新〇八〇〇

河河八〇中中 八〇〇中中

五五

連鎖街の問屋大島屋 品質升目確赏 配達迅速 商金

け脳側等女話電側すら係に少多 すまし申

草品

、あり、電力線の配線が像

(=)

滿洲國援助に 關する日本の

社

說

ヂレン

7

(四たび)

である。 満洲國の産業に取つて の新設権張を抑制せんさするの の新設権張を抑制せんさするの 変に根本より其 ではなく、質に根本より其 ではなるが、獨り確安工業に がりではなく。質に根本より其 ではなるが、獨り確安工業に

工場に就てゞある。滿洲に於けせればならぬのは、満洲の製廠此點に就て吾人の是非さも一瞥

舊東北政權時代の

官營事業管轄機關

奉天省公署で決定

では新展満洲園につき客舗選ん器 くこさになつてゐる、園に講師は 清銀、関東駅、軍引会部、満洲國 の各関係権販者で識習生は全國の を対象を検教員であるさ

政府の方針の大針の大針の大針の大針の大針の大針の大針の大針の大針の大針の大手を大きない。

施じ大連に纏軟賣店を支店をハー になつてあます。今度の来流も になつてあます。今度の来流も その用件の為めで近く具體化すー をの用件の為めで近く具體化すー をの用件の為めで近く具體化すー をの用件の為めで近く具體化すー

監査員決定

de et an 迎數書以

備を完了して從事員の引越しも総 になれ、用中に完成は困難さ しては九月十五日までは総ての設 しては九月十五日までは総ての設 しては九月十五日までは終了の設 になる。

退職特別

交付公債買上げに就て

支那人なら解答さしてゐる所でも不潔非衛生家である所の下層

市

施設から思え

## ###

場は公社債の強調にリードされて 根場公司を保つたが後端をにて値 とりを保つた株少しロンドン飼の 安値に词らずアナゴンダ網株は八 分の一安の三端八分七に濟んだ义 小販な質材料さしスチールの前途 も好轉を鎌担するもの有るも値を 出ずほど有力でなくスチールの前途 紐育株式市況

票小

聢

◇定期後場

一時中〈OI 1120 1500

★奉天大洋

五八八〇 五四六二

魚谷造花店

白米變動相場は

(7隆) 苗五六五六 苗電

ヤツタナア。

ラクダ ノ アシダ・

ケシカランヤツヂャー

てもいくさいはれても萬酸々々

の前で低速も々々

津田さんぎ私は宮城

しないて思ひました、管々こし でいる中を自動車で暴山に行 でした、中でしか。 では、中でしか。 変形の影色は内地でもあまり楽 京都にある頃は毎日頭が降つて 京都にある頃は毎日頭が降つて 京都は非常に解か

ごうして京都が多いやうですれる。 大壁京都が多いやうですれ

會動運のリア

私の好きなさころは皆さん 発育湖

處が四ッあります、第一は宮城

つ六甲山

使節は着席順に右から答へた。この質問に リボンも情たべてもまひましたと、近くによつて來て腕の花も ないこいふ鹿師ひのお爺いさんが、鱧かきて胃なかぶッて出て水でラッパな吹きました、さうなこれないまました。さ が行きますさ奈良に一人しかる 字見も大變されいなさころで 奈良も大變されいなさころで

日 和田 (熊前) ハイット 吉川(沙河口) 日本の町のお話 中溝さあ今度は何のお話をこ はもちろん、 で日本の町や、山や、川や、色はもちろん、大連の人造も皆 で何遍が一番よいさお思ひで ん何にしませうか きませうか、大連のお

小學校の和田嬢はいつも仲々 となければ見られないさ云って 中海 うちやましいお話しですれ ・ ここ…… 欠に奈良はさうでした 楊• こんな美しい景色は仲々運がよしい景色で、京都の人々でさへ

する處が深山あつて、こちらけ計り 歌迎音があつて、こちらけ計り 都の方が好きです、大阪も東京にだかゴチャーとして建選権京 が見た東京の町は、自動車の窓

こさはありません、それで舟を一根達はこんな美しい景色を見た のが遅れて鉄理會の小父さんにした、その上次の鉄理會に行く 母様で呼んである)を困ら 母様(石田妓史を使節は皆おりるのはいやだく)さいつて その日の嵐山は美、少女使館一同五に顔見合せてゐた。 京都の人々でさへが、ごうも東京は感心とないらし、 京都の人々でさへが、ごうも東京は感心とないらし、 「「「ない」」が、「ない」が、「はいっとない。 「ない」が、「ない」が、「はいっとない。 「ない」が、「ない」が、「はいっとない。 「ない」が、「ない」が、「はいっとない。 「ない」が、「ない」が、「はいっとない。」では、「はいっとないでは、「はいっとないでは、「はいっとない。」」では、「はいっとない。」では、「はいっとない。」では、「はいっとない。」では、「はいっとない。」はいい。」はいい。」はいい。」はいい。」は、「はいっとない。」は、「はいっとない。」は、「はいっとない。」は、「はいっとない。」」は、「はいっとない。」は、「はいっとない。」は、「はいっとない。」は、「はい。」は、「はいっと、」は、「はいっとない。」は、「はいっとない。」は、「はい。」は、いっと、い。」は、はいい。」は、はい。」は、はいい。」は、はいい。」は、はいい。」は、は、はいい。」は、はい。」は、はいい。」は、は、はいい。」は、は、はい。」は、は、はい 中海 それは大気だ…… んの好きなさころは京都、奈良 それに神戸の六甲、

「下)奈良公園の神鹿

南

と一旦

寫眞說明

戦けます、甘味の嫌な方は上おいて戦きますさ一層美



端の風の先にぶら下がつてゐるといふことだいひ變へれば暴問を生のま、下泉底に離れてゐる姑とが事毎に衝突するものと思ばれる。 大韓の別居問題だ、近頃の経底には火婦の仰るす限りに表言とによって生き中愛を感じなる。理には大婦ののお表にをした。 大韓の別居問題だ、近頃の経底には火命の形を明また。 大韓の別居問題だ、近頃の経底には火命を表言とによって生き中愛を感じなののものと思ばれる。 り、更に、若大婦にが、大壁に放て、老夫婦でのに、若大婦によって生き中愛を感じるものであり、更に、若大婦に子供が生れた必要はしてある。理に、若大婦にようとしてゐる。理に、若大婦にようと表に進ってあるのになる。 ★…然し不完全同志の人間の集まりである ・・、それも続り選くへの別居は悪いが站も時 を行つて世話の出來る程度の別居が第二の營 を行って世話の出來る程度の別居が第二の營

日本の汽車の方がきれい

支那料理は滿洲の支那

場でも京都でいただいた支那料 場でも京都でいただいた支那料 東京、町や家が立派だから んは日本を満洲さ きれいだから

歡迎座談會®

住みたい京都

奈良もよいとこ

東京で忘れられぬ所四つ

・さいいのに、誰かつくつてくれ 一種は大連、海があるから

ですからその人も免疫不能な機質

彼女らに映じた日本

和泉 ほんさ、長春にも滅がある 電 住むのは京都、學校は東京の 電 住むのは京都、學校は東京の 八院隐意·電話五字条番号472m・4字字塔前院長 内田・鎮一 内田医院

能に流り、

ラッキョが市場に変か出してぬま すから憲法を語して見ませう 本材料=ラッキョ約一升、總二合 警袖一合、酢五合、砂糖百多 て冷した汁を前の海瓶に注ぎ入れて冷した汁を前の海瓶に注ぎ入れ

人が千人のうちこっしたのに、要注者の機質によって抵抗原師を発度原養生不能の

**天森医院** 

ないものです ラッキョ

漬け 0

情死

め

谷

行

100

君

龙

0

凉

哲人王堂の妻として

田

派

藤田親昌

たしましてから三日であ 液に静に吸収されなければ効果が コレラ運防注射の効力は一だったのでせう、で注射部の廉助 千人中ひとりは発疫不能 注射は三日で効力が出る 井三

てゐたが注射の効果に施行後十てゐたが注射の効果に施行後十 でその効果がありますか コレラ豫防注射は何日位 祖 

日乃至は二週間で養生するもの 

古古

さんの攻撃ですか、

すか、もうかんべ 今度は滿洲さ内

大慰じやまになりま

れるのには指角のお参りに

心の寫真の小父さん塗が



……阪東三建五郎

田

悩める農村は何處へ行く 上田徹信

名畵に似せた夏姿 私 3

h

\* 女

駒子栗金 井野島子

劇界の新

本 美 代

公

醫門博士 佐藤冬島郎

此方學製 責任調製



あち ◆ 名 を敢てした女 退 3 樣 分(花柳内縁ばなし) 國 行 5 門 三宅やす子 枝 田 史郎 民 ய

子が生れてから嫁にゆくまでに必要な費用 江 赤羽克 霞五郎 清水每凌

自 傳 る 入江たか子 山川菊榮 学味事

虞美人草 0

三部(西区場)









戀

赤

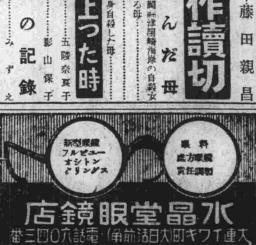
松

松旭齋天勝

夏

0

理口





修少年、彈丸下に沈着臨機の措置

分水驛襲擊事件

賊團を捜査

九のが年ではぶら年

**南上**りの悪路を踏み

本月十三日常地北方一 に続て銀橋低郷工事中 に続て銀橋低郷工事中 に続て銀橋低郷工事中 に続て銀橋低郷工事中 に続て銀橋低郷工事中 に続て銀橋低郷工事中 に表で銀橋低郷工事中 に表で銀橋低郷工事中 に表で銀橋低郷工事中

營口物產組合の決議

珠算競技會

**上額を要求** 

匪賊團から凄い脅迫

岸木氏からの便りも來る

拉哈事變に

絡る美談

日

歌遊さして水上生活者は勿論其の | 建設に着手じた | 観念されたので一瞬日中に第三期 り 銀両共同 墓地り 銀両共同 墓地 り 銀両共同 墓地

岸木氏の身代金

注射に関する活躍に質に目覚まる。

朝鮮平北の

### 虎疫菌村落に傳播 流行區域益々擴大 寒心すべき営口附近

派出所新築

住民の醵金で

を見ざりし處今回附近居住民の脚

合唱及びその他餘興質見童の舞踊を出す

安亩

の患者分割三十七名であるが市 の患者分割三十七名であるが市 に於て検索調査が暖重を加ふる といこな医療してする。 なるが飽くまで遺憾なきを斯して レラ患者 前後を通じて四萬人

豫備收容所 鳳凰城襲擊 住民に避難慫慂

を通列車には乗務員(警官)な乗 が、一蔵では、乗務員(警官)な乗

を 及び収穫塗想等につき調査すべく 東支沿線の産物、大豆、高粱、栗 支沿線の産物、大豆、高粱、栗

東支鐵道が

四 四 二 四 趙獨金金朴張趙獨高 東區間文重聖東區 動仁 懋旭 彬均 動仁

從業員整理

々様だしきがり続きむ。

產物調查

等の出演などて盛大に開催す の一大親睦舎の意味な含め餘奥 の一大親睦舎の意味な含め餘奥

東支沿線の農

警乘員

輕油動車にも

中四坪强の新派出所を建築することなった総督は戦の統三子国内

日 二 要大病院の電空機等と満見で収容 こて之が防災に必死値努力を避け こて之が防災に必死値努力を避け てゐるが、一方患者を収容すべき 一 であるが、一方患者を収容すべき で電局でで電局では第一を虚 職すべしさ書信を以て通告して來的物質に對し兩三日中に鳳凰城 たので同地在住民は戦々個々さし難すべして書信を以て通告して本 るる頭目跳線権は十八日鳳凰城へるる頭目跳線権は十八日鳳凰城へ 油動車が順戦に緊撃された二の難 の調査方を依頼して來た もの、經池戦車にはこれが實行さ との、經池戦車にはこれが實行さ との、經池戦車にはこれが實行さ このほど電域円離が重長 の調査方を依頼して來た

委員會を開催

電力 という できます ままり できます から 数画に 配って 企業 真三分の で 一切 で が 字 回真に 企業 真三分の 一切 で が 字 回真に 企業 真三分の 一切 で が 字 回真に 企業 真三分の 一切 で が 字 回真に 企業 真 三分の 一切 で が で もる さ

旅順

豫算事務分擔や役員改選

奉天鐵西に建設

で賊を倒す 柳塘炭坑附近 滿鐵社員會奉天婦人部

原常本の諸氏等を で 幕二張か設備と置き推しも所時で 
中国出來ることにする、右は目に 
下本社々員令及び社會施設係に 
交渉中で近く實現の答 
が 
一下本社々員令及び社會施設係に 
一下本社で員令及び連合方法 
一下本社で員令及び連合方法 
一下本社で員令及び連合方法 
一下本社で員令及び連合方法 
一下本社で員令及び連合方法 
一下本社で員令及び連合方法 
一下本社で員令及び連合方法 
一下本社で員令及び連合方法 
一下本社で目前権でる 
一下本社で目前権でる 
一下本社で目前権である 
一下本社で目前権である 
一下本社で目前権である 
一下本社で目前権である 
一下本社で目前権である 
一下本社で目前権である 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前権で 
一下本社で目前を 
一下本社で目前権で 
一下本社で用が 
一下本社で用が

十九日午後六時学より八千代館に 大変を 一て更任被職宴を振ったが大連へ楽 の自井氏は二十日午前八時三十 分養別車で家族同常から

長春

實業新聞

智字 建成教授 三河町 港内 電八六七五番 三河町 港内 電八六七五番 三河町 港内 電八六七五番 三河町 港内 電八六七五番 三河町 港 大連市大山道 小林又七支店 大連市大山道 小林又七支店 大連市大山 (大連市大山 (大連市) (

大改

を絶つたことより職 とが實業新聞と全 で変素が聞き合

大家 産町二五、階下九、八、 浴室 電話八〇九九 浴室 電話八〇九九

【新京】長春鐵道事務所長白井喜

青葉 1新見(弟) 2長 溝 3 劇桿公

自働菓子ツカミ機 東子ツカミ機 東子ツカミ機 東子ツカミ機

学衣 婆 蝶綱用 日陸町 きかひや 電五四三七番

所長更迭

宣房 9 村島 2 大島水

賀山田藤木野

内外門御西川卸香業所名入萬年筆黎東元

**貸**衣

**産婆** 内閣孝子 西選九番地 電□□三九三

長春鐵道事務

め之に態戦

た事業保護育に関する 五、各種趣味講座関連
本件は脅負の希望を徴し、
が部より補助すべき練費を考慮
び部より補助すべき練費を考慮 銀勘定の開始と 過爐銀廢止要望

宛殿懐書を歴出したが現在の鐵行標と、著所政職長、滿洲國中央銀行標 一、警日組令銀行に對し銀動定開 本一大四半員 一大四半員 一大四半員 一大四半日 新田 新要物館組合にては 銀號の四軒のみである **正意喚起の件** 業物の競技者を行ってゐるが本年 要来」東京曜では軽臭の能力を

名 し日 が一般 では、 この では、 こ

 東京に渡る。
 東京に変した。
 の角元を取り屋外の二三名と共に入り来り失趣に挙続を握して二名 統、世昌徳、水惠美、公益諸・佐田したが現在の銀爐 最一種の試みさして地学の脚や含む 一等三井田弘、二等油谷東生、 一等三井田弘、二等油谷東生、 一等三井田弘、二等油谷東生、 **落科** 養養 養養 養養 の赤系調査

天對編第一旅副司

新任奉天領事)

注視されてゐる

歌奏 十九日來奉

信義町市場正門前(木村宝牌)

一 操 未 大 合

チステムメー 年大病 要決他家 音類診療 一石井家 変 病院 石井家 変 病院

大阪商船(株式大連支店) 李嗣前提所(大連山縣進) "秦蔣四一三七城 "秦蔣四一三七城 "秦蔣四一三七城 "秦蔣四一三七城" "秦蔣四一三七城 "秦蔣四一三七城" "秦蔣四十三七城" "秦蔣四十三七城 世月清凉船封出明 東京廣山東八月五 世 廣东

| 「大学 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

大連市三河町院 院

●大津 行演辨丸 七月世六日 一大 津 行演辨丸 八月 二日 一大 津 行演辨丸 八月 二日 一大 阪 南 船 株式 大 連 支 店 電 解四 二三七番 電 解四 二三七番

山 兄 弟 商

我先生創製

大連市二葉府六〇 鈴木丈太郎

乗車せるめ管備の完整を斯するこ を被できる機十九日からいよく

軍敗る 國境庭珠戰 勝利の発記したが安記していたが、 を最後の決勝したが、 を記述されたが、 を記述されたが、 を記述されたが、 を記述されたが、 を記述が、 を記述が、

大阪漢連隔荷町一丁貝 (5)荷川東美子 大阪漢連隔荷町一丁貝 (5)荷川東美子 (5)荷川東美子 (5)荷川東美子 (5)

算盤の御用は

天帆高級紙生渡が世

白帆高級お化粧紙

大阪市東區库久賽寺町二丁月四八大阪市東區库久賽寺町二丁月四八 男子 生後三週間机統正愛泉家 外交 員入用確實なる保護人 小店 員入用要市內保護人 若換町稱兩商會電七八九六 若換町稱兩商會電七八九六 在人人用但市內に確實なる 保護人三名本要す 人人用但市內に確實なる 保護人三名本要す

五電車通四階大連案内社 等勒端債券多敵有り四千 主越商品券五分引変入 三越商品券五分引変入 三越商品券五分引変入 一支級 電車通四階大連案内社 の新聞月三经 の新聞月三经 の新聞月三经 の新聞月三经

唐年 華並修縛専門・大山運達 ・大連萬年華朝院 電三 ○1二 ・ ・大連萬年華朝院 電三 ○1二 ・ ・大連萬年華朝院 電三 ○1二 ・ ・大連南岩代町五番地 電話七七一四 藤展堂 ・大連市磐城町五番地 電話七七一四 藤展堂 ・大連市磐城町五番地 電話七七一四 藤展堂

開業・一段では一大阪東
ムラタ物一店・東二二二六一

中乳 バタクリーム 満洲牧場 電話大一三四番

下宿 旅族的議遇了资金有 無照的金叉校前 福 田神明的金叉校前 福 田 神明的金叉校前 福 田 中国公司

を草ボックス 各種色革クローム底革 発達的 豊田 洋 行 会質 豊田 洋 行

戶北九州商船出航

生後三週間れ統正愛見 10円九一番です

● 二行回 金 九 拾 數 ● 十行回 金 齊 圖 ● 十行回 金 齊 圖 ● 十行回 金 零 圖 ● 十行回 金 零 圖 ● 十石百合 金 六 圖 ▼二十百百 金 六 圖 ▼二十百百 金 六 圖

ヤアご

安東浦洲風側の王

勝敗を行ひ午前七時震々得に終了。は 監の差を現て優勝、不老會都順の を現る優別をおきます。 に続て東され終りに各勝瀬の優 が会長の署新コートに放て麻 の差を現て優勝、不老會都順の を が会表が現実をれ終りに各勝瀬の優 が

降雨の為め繰延べられたオールド

中老庭球終了

日滿の融和策

要載さはいへ長春では非常に情ま かなのたが、氏は長春在獣四年、 いなのたが、氏は長春在獣四年、

金州は

よいさころ 新署長の初印象

本田警部補赴任期

御西六條館に新社屋を敷護中であ練順無盡會社では縁て市内中央大

無盡會社社屋

西海岸の海水浴場に脱を場でてあったが市民會の手で特が久崎のもの たが市民會の手で特が久崎のもの たが市民會の手で特が久崎のもの

海水浴賑ふ

宴を催すさ

金

州

一八月は前夜からの除って道路が 窓く窓に中止された際水浴と前日 の日職は特に便宜ル際つた流電パ 次で輸送された鈴め家外多数の浴 であり西郷岸は時ならの瞬間で道路が 変あり西郷岸は時ならの瞬間で道路が 変あり西郷岸は時ならの瞬間で道路が 変あり西郷岸は時ならの瞬間で道路が 変がが、一部一会とは同日の成績に鑑 変

在機關係有志参列の下に上棟式戦となったので當日は午後五時より るが二十一日上棟式を響ぐること 脱衣場を新設

ラデオ講習會

林出領事着奉

・ 教育状態に施る良好の由である 本年は天候廉調にして病毒害・見 本年は天候廉調にして病毒害・見 のである。 本年は天候廉調にして病毒害・見

撫

り之れが護衛のため銃器機器の組織のであるが本年は膨敗の危険を慮

株定署内の編成替をならた 高等主任品川警部補、警務主任 高等主任品川警部補、警務主任 機、司法主任吉田警部補、外勤

作業境草の發育調査を十七日よ

古根警部の後低未定なるため後任 村根警部の後低未定なるため後任 であるが がは、この後代表定なるため後任

警察新編成

葉煙草調查

組合指導員さ監督者のみで行ふ三日間の像定で開始したが例年

中學校開校

死去とた

四平

街

電民航百餘名指標からの歌雨な突響長は大人同門十八日轄養州車 楽響長は大人同門十八日轄養州車 楽響長は大人同門十八日轄養州車

防疫會議開會

年四月を以て完了の豫定 年四月を以て完了の豫定 を育る。 原では一般では、 原では、 をいて、 をいいで、 をいて、 をいいで、 をいいで、 をいいで、 をいいで、 をいいで。 をいいで、 在関東劇場 倫用度係の触覚は製内に然て補充 でする筈 防止に大童 コレラの侵入 五房店滿鐵社員中野さなつて來る いて見送ったが、同日午後七時十

柔劍道土用稽古

社更生策

撫順不動產會

田植ゑを終る 岳

明 先に 業権機の 朝陽 第 方 名大刀 倉 和 館 と 交替 と て十八日午前九 時四十 か が ま 交替 と て十八日午前九 時四十 で 一 歌 と 交替 と て十八日午前九 時四十 で 一 歌 と 交替 と て十八日午前九 時四十 で 一 歌 と 交替 と て十八日午前九 時四十 で 一 歌 に 愛 本 く 戦 山 に 長岡部除凱旋

武道土用稽古

等も充分出來て害蟲の養生等も少

成績順る良好であるさ

達

陽

旅順放送 二僧並に騎銃

遠矢少佐遺骨着

**着** 任

瓦 房 店

部件もそれなく容然に配験された。 一とたので解答の建て直とななし今 を動が保安、司法、総性を変しるななし今 中和田、下田、標識、概度の四部 で取答の建て直とななし今 は、総性を撤低し、 を記、総性を撤低し、 を記、総性を撤低し、 を記、を記、を記、表本に 新工作を表する。 を記、を記、を記、表す。 を記、を記、を記、表す。 を記、を記、を記、表す。 を記、を記、を記、表す。 を記、表す。 を記、表す。 を記、表す。 を記、表す。 を記、表す。 を記、表す。 を記、を記、表す。 を記、また。 を記 また。 をこ ま 。 時間変融は変代で道をなる。

龍膽寺雄

回トテモ美味しいトマトの頂きの安質・榮養・田園向き家庭料理 と風呂敷

語る

小思議な話

談談

談會 回新家庭を

は、最新の流行語から、美容、裁練、料理、手帳等の實用新語まで 口給として「訪問接客の實演書報」出にもぜひ必要な名附録!

**水泳出場者** 

二期徐閏の為め十二僧並に騎銃の空砲最火波智を行ふ 伊知地町七加藤已之助氏方では 十七日二女元子護出生 十七日二女元子護出生 本海疑似さ診斷さる が務替へこなつた岩井銀吉、小 松統辞、仲村延四郎三弩部は十八日 赤痢疑似さ診斷さる がある。 からなった岩井銀吉、小 を続き、小

十一長合川組員遺骨・北海のの横った長谷に組織の十九日午後急行で基準を取り、十十日午後急行で基準の十九日午後急行で基準を取り、十十日午後急行で基準が上上に横飛び十九日午後急行で基準が上上に大きなに後継が上海が上上に大きない。

東送された前職祭器長舎尾北吉氏 は十七日午前十一時半の列車にて 家族同伴官民多數の見送りを受け で最近された前職祭器長舎尾北吉氏

新舊署長離着

各方面を懸訪新任の挟衫を述ぶる動車で南山に参拝したが十八日は

(五) 本田家の不幸 京城日報 をを記して十六日満録登院 人は常徳の数にて十六日満録登院 

\*\*\*

### 

 $\oplus$ 

### 良







食慾進まず消化悪しく胸先落へ鳴つきゲップ出で 損じ内壁には恐ろしき疵や爛れを生ぜる為 は實に治り難い病氣で人目には左程大病ら 

の疑ひある症状には是非ともアイフを服用せられよ 少しの酒や不消化物を食するも覿面下痢し痛み 腹膨りゴロ 養, 便に血液 つも下痢や軟便にて便には粘液膿汁を混じ 物を食するも身に へ顔色悪 肋。 膜に 膿汁を混じ ハブツノ 故障を生じ熱出で夜眠 神經過敏にて短氣 八鳴り放屁多く 胃 附 癌がん かず身 胃潰瘍; 體、 下腹痛み 腹で 結核等 衰認 られず となり



は胃腸病に最も適切の良薬である。 郎ち主

弛緩を引締め腸の蠕動亢進を制し下痢を止め痛みを鎮静 して病苦をよく快癒に向はしめる。 甦生せしめ食慾を進め榮養の吸收を住良にし以て血色を と相俟ち、炎症を鎮め粘膜を強壯にし粘液の分泌を減じ 加へ體重を増し元氣と健康とを増進せしめること著 面を治療すると同時に、 て患部直接に醫治作用を営み病原である創 薬は腸胃内壁の潰瘍面或は糜爛面に附着し 高貴藥其他配合諸藥の特有作用 大阪市 東 區清 が更に胃腸の機能を 水谷西之町

樂 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 日 日 服 分 分 分 入 十一日分 五 二十 接七十五 錢

發賣 本

全國到る所の有名

なる薬店に販賣す 順 電話(東)五〇〇〇・五〇〇二・ 電話(公石川)

成、高鐵社貴族大位田武義氏に難じ今般設しも天皇皇后開陸 大月廿五日呼海線で名乗の戦死が遂げた關東軍司会部事務場

▼東京二十日教」滿洲事壁動養以が六月来までの出征風觸者上四名 東京二十日教」滿洲事壁動養以が六月来までの出征風觸者所に終す は勿論配書の出征興緻出電局をしる跳銃さらて監然であるがその熱 は勿論配書の出征興緻出電局をしる跳銃さらて監然であるがその熱 は勿論配書の出征風観者を設ける。

戰死滿鐵社員に

祭粢料を御下賜

畏き兩陛下の御思召

男子六千九百名

出願者

鮮人から三十二名

六月末現在の調査

4月軍部令官さ終二十分に取り会

旅客

際設百名が突如兵墜を起し逃亡行十七日長敦線江密河口にある歩衛 | 野部警戒中である 遠矢少佐の

『チチハル十九日巻』 拉哈磐倫線 では、 ・ (十三日に進級) の帯ひ合戦さく (十三日に進級) の帯ひ合戦でない。 (本三日に進級) の帯ひ合戦で、 紅槍會 (本語・ 1) を表情に 總攻擊開始 また榮町で 吐瀉する

東北六里の議会管子に集得専門工事北六里の議会管子に集得専門工・紅棺倉庫二千 飛行機の空撃 ラこして直に整確認に被禁、目下が突然吐瀉を起したので解似コレルが突然吐瀉を起したので解似コレルが突然吐瀉を起したので解似コレルが突然吐瀉を起したので解似コレルが突然吐瀉を起したので解した。

した『泰天電話』

寺に逃げ込む 長春に發生 眞性

中間驛員注射 東天以北近を漫画の管 を天以北近を漫画の管 を天以北近を漫画の管 を表現北近にが、廿二日東に安家線近 を表現北近にが、廿二日東に安家線近

遺骨となって 滿類衛生課では滿嫩本線中間驛の 消縄農物課では左のごさく概託し土用太郎の浦州農作物作況につき 農作物は

理想的氣象

航許可さる 松花江の下

ヤック

7

感してゐるだらうさいはれてゐ 大連深閣長庇舒沙次溪出て機當。 大連深閣長庇舒沙次溪出て機當。

東方)の南、陸監山の寺院に高伏、特を絶たれたので鏝覧(平瀬線の

行無電な静徳され全く北平さの連行無電な静徳され全く北平さの連

馬君ごうり 八時华同が酸に出動した

犠牲者還る 拉哈站戦の遭難者 てゐる

「本語」し五のこさく概約し

「本語」にない。

「本語」にない。

「本語」には金種に雨が多くしからを
「本語」のでよつ理想的な夏の氣
「いるでもつて日中は晴れ、氣温」「いるでもの、清冽は旱魃を
「本然」されてゐたもの、哈市から下流
「は低鴻地には被害があるが全體
「本然」されてゐたもの、哈市から下流
「大語」には彼害があるか全體
「本然」されてゐたが十八日から上
「なしては動作であるから今年も
「本然」されてゐたが十八日から上
「本紙」と
「本紙

愛國献金廿萬圓

近く外相から感謝

一度全一線線は約二十萬面にしてその内部 四田は十八日の練習にて足をスパ 選手頁傷

空巢狙

東京意識院で前部の六年に歌と繋 衛根岸の元外が書記七村田愛次郎 (三)の殺人事代控訴者は本

いる背泳の强敵 田畑監督の視察談 元勲、張星堂は三百米に三十五科 金髪美人殺し

の金融美人概してして時がれた紫 「東京二十日景」側の州経音記念 人であるだけにその単本氏の並 場を慮って「恐廉人さしては単 を進言をしたのだが長が郷火総 を進言をしたのだが長が郷火総 を進言をしたのだが長が郷火総 を進言をしたのだが長が郷火総 を進言をしたのだが長が郷火総 長の職本順三郎氏は問題の養頭さころで補州國大連關税銀収鑑

()

ちご

岡山の

巴水

旦蜜

杏桃

7

橋

ルの

ヤ果物店

土伝の

れてしてはその進電によって感がかり開本者でしていなかったかされなかったかさればかったかさればいったかさればいったかさればいったがは、然も 鳴尾の

服力

新鞆豐

富着荷

監長部

七月廿 お待ち兼ねの・・・・・・・ 日 八月五日まで

|如何なる彫刻でも致します| 店 速 町

行店

共通

本庄軍司令官を訪問 の御前試 満洲事情を感激謹聽 三十分素天量列車で長軽に赴き二十一日減政漁儀氏に直端と河南地 合を行ふ響『糸天電話』

爆彈積込中

第10日目の十九日は三日目こ 武 蔵 山(南)を 南合作大相撲の人氣は飲く最頂に 武 蔵 山(南)を 第一年と出

清水川へ選士權

協會大相撲四日目

打ちやりい網の一番り切りと越ノ

小川へ上手投げ)玉錦

田心松前 ア

落して爆發

加賀の椿事

一週り込んで左四ッ一般右に差して攻めれる 網川

人で具體的折衝をなず事さなった

紅槍會に襲はる 邦人乘客三名拉致 事態似死傷者左の如し、七月十八

七二、戰傷死九三、戰傷

不穩部隊監視

この美しき祖國歌に感謝の意を表になるものである内田外相は近く 世野谷地の在外日本領事を通じて 世野谷地の在外日本領事を通じて

た、子供たちも追々私に馴れて とれましてお別れする時は皆大 ですな有様で、私もごうしてよ いかわかりませんでした

連補と目下徐素につき配電取職中時間等が持し目下徐素につき配電取職中時間等が株の層出により所をおからの層出により所

ホールに反對

濱廼家頑張る

である

酒類

食

料品

明日の出港船

九日爱》陸軍省調香滿州

戦傷死〇、戦傷四

レラ流行地に 戰傷死四、戰傷二一 十九日夜九時城吉長郷土門総駐屯 市城鎮道指修隊の一部は不穩の行 九日下麗重に監視甲である、然し 一時は電像電話表に不通さなつて 大麻ぎか演じた『新京電話』

石田女史

設置問題で反野側に立郷田林之助氏は例のダ

人任か果して

な責任を果し度に新聞一行六名を連れ日

に取ってあくまで

地でみなす旨願東殿に通遊と概つ「本天第七分節内織化御妻子氏」し、大連の願地をコレラ流行指定「本一天」は、性二二名「概念僧育では二十日附を以て総「総験中である 朝鮮總督府から通達 共產黨公判 街頭デモ

大連營口を指

であるが何れも風性コレラミ決定 であるが何れも風性コレラミ決定 二百一名に對し去る五日未和され機器、四一六の三共産黨事代被告 報告會を開く た実験護士庫

達附近に洪水

策してゐる · 和で同氏は行の趣旨を述べ大連署

合法的でない

鐵橋流失し列車運休

北衛客河川氾濫大洪水 し西部鉄列軍運行社に安達附近は被害書

▲保安區四一二GV 俱樂部

お果

ニナー日午

飲迎するこ 遼東寫光會

斯界の代表株に付利 作 所

新古自動車の賣買は

大連郊外土地會社會八二番

馬

洋

名の駆動が乗込むが、大阪御線で下水連中の相撲線會一代百七十餘 なるべく早く寒船・事込まれたいさは萬一滿員になるさいけないから

木製部は学の地では新書長大場部への著作で火と後来を製り新年

時は根ブトン番門連続を対する

小崗子署主任異動

發賣元 下田地製 特約店寨集

祖元の機脹膨物穀・なふ迷に告廣大誇 價特の為の出賣傳宣臺百五型各回三第 機子菓米る成に升入が米の合五・供提 (に細明名氏所注) 「安鉄二縁型 

ほりちまー 究所賴氏劍製惡疫豫防胃膓保健 ろ

英國製の名菓ー バターフライ印ー 界各國

トツ

罐入(四磅入2.80

八月末二週間の像定で渡滿同國要 常にあったので遮信者、協會院部 が議の結果協會の小森常務理事は が表現の作品で適信者、協會院部 電網の完備が叫ばれて來たが、等級の完備が叫ばれて來たが、等級の完備が叫ばれて來たが、等 貨典して援助してはさの相談が 滿洲國と折衝 (Coppe

日本各地名産

珍

意開館期迫る—— **食成開始** 全意ダンサー養成開始す 原家の子女を特に歡迎し當會館教師に依り教授養成す 原家の子女を特に歡迎し當會館教師に依り教授養成す 原家の子女を特に歡迎し當會館教師に依り教授養成す

電話三三< 〇番 次

募集(當地採用約三十名)

高松瓊帽 放送協會の 前ノ瀬 登山浦川 

理事來滿

家 業 क्षां।

